

平成24年度

事業報告書ならびに収入支出決算書

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

《目 次》

□ 平成24年度 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会 事業報告…………… 1 ～ 63

【一般会計】

経理区分名	事業報告 (ページ)
1. 法人運営事業	2
2. 住民会費等事業	16
3. ボランティア活動推進事業	17
4. 小地域ネットワーク活動推進事業	21
5. 助成事業	25
6. 献血推進事業	28
7. 福祉サービス利用援助事業	30
8. 精神保健福祉推進事業	31
9. 生活福祉資金貸付事業	35
10. 住宅改造助成調査事業	36
11. 住宅手当緊急特別措置事業	37
12. 共同募金配分金事業	37
13. 居宅介護等事業	37
14. 移動支援事業	39
15. 総合福祉センター管理運営事業	41
16. くすの木園 (生活介護) 管理運営事業	43
17. 共同生活援助・介護事業	46
18. 障害者活動支援事業	47
19. 父子家庭日常生活支援員派遣事業	47
20. 地域包括支援センター事業 (第1圏域・第2圏域)	47
21. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	51
22. 地域活動支援センター事業	53
23. 乳児家庭全戸訪問事業	56

【特別会計】

経理区分名	事業報告 (ページ)
24. 総合福祉会館管理運営事業	57

平成24年度 社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 事業報告

社会的孤立や家庭環境の複雑化、地域連携の弱体化など、私たちの生活圏である「地域」には、多くの福祉課題があります。枚方市社会福祉協議会では、これらの福祉課題について、地域とともに課題解決に向けきめ細かく対応していくことが求められ、そのことが地域を活性化させる大きな要因であると考えています。

第4次地域福祉活動計画では地域力の醸成を目指しており、平成24年3月に策定した「経営戦略プログラム（第2期）」では、計画を推進していくための組織の基盤整備・強化を図り、社協らしさを発揮できる経営基盤の確立を目指しており、5年計画の初年度として平成24年度は、次のような活動を重点として行いました。

組織の基盤整備として、平成29年度までに11人の正職員が定年退職することを見据えた事務局体制の再構築について検討し、事務局人員体制の整備と組織の効率的な運営を図るため、「人事計画」を策定。「早期退職制度」を創設するとともに、多様な任用形態の活用についても積極的に取り組むこととしました。併せて、人材育成を積極的に進めるため、全ての職員の能力開発・各ポジションにおけるスキルアップにつなげる「研修計画」も策定しました。

財政基盤の確立として、透明性を重視した基金の有効活用を目的に、基金・積立金の再構築を行いました。「地域福祉推進基金」をはじめ、本会が独力で実施すべき先駆的な取り組みの財源として「先駆的事业活用基金」や、ボランティア活動の一層の推進と災害時におけるボランティア活動資金として「ボランティア・災害救援活動基金」、市内の非営利福祉関連団体が取り組む先駆的・開拓的な福祉活動を支援するための財源として「公募事業助成基金」と、その使途・目的を明確にした基金の再構築を行い、活用体制を整えました。

事業においても、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）等の相談機能の充実を図るとともに、本会での相談事業の中で、差し迫った生活困窮事態などに対応できる資金について、歳末たすけあい募金の配分計画（平成25年度分）において配分枠を創設し活用するなど、相談事業への支援を進めました。

本会の災害対応及び災害ボランティアセンターの運営の再検討については、枚方市の防災計画の見直し時期と重なったことから、その改正を踏まえるとともに、大阪府内の社会福祉協議会間で、「災害時における災害ボランティアセンター運営支援に関する協定」が交わされたことで各社協の情報交換を図るとともに、被災地支援等の経験を生かしたマニュアル作成を引き続き行います。

福祉サービス利用援助事業は、生活支援員を2人増員（計7人）し、利用待機者を解消するとともに、新規利用希望者への取り組みを進め、年度末利用者を91人となりました。また、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、権利擁護の拡充を図るため、法人成年後見制度構築の検討も行いました。

地域支援センターの業務では、枚方市の通学ガイドヘルパー制度の10月実施に伴い「枚方市障害児通学支援事業アセスメント調査事業」を受託し、通学経路や学校生活の状況、家庭状況、障害の程度等に関する聞き取り調査を行い、事業の円滑化を図りました。今後も、相談に係わる事業を実施し、相談支援の強化を図っていきます。

1. 法人運営事業

法人運営事業においては、法人運営の要となる理事会、評議員会の運営をはじめ、市や市内各種団体による実行委員会が催す事業にも主催となるなど、積極的ににかかわり地域福祉の推進を図った。

また、経営戦略プログラム（第2期）に基づき、基金の再構築や人事計画等を策定し、経営基盤の充実を図った。

(1) 理事会開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
5/22	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・理事候補者の評議員会提出について ・評議員委嘱の同意について ・平成23年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について ・平成24年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第1回）について ・指定特定相談支援事業運営規程の制定について ・組織会員の入会について 	15人
9/14	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会(法人経営部会・地域福祉活動部会・在宅福祉サービス部会)の報告について ・基金及び積立金の運用状況について ・基金、積立金の再構築について ・早期退職制度及び再就業制度について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・平成24年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第2回）及び特別会計収入支出補正予算（第1回）について ・東日本大震災復興支援ボランティアバス（8/9～8/12）について 	15人
12/7	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会（法人経営部会）の報告について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会地域福祉推進基金規程の制定について ・ボランティア基金設置及び管理に関する規程の全部改正について ・枚方市社会福祉協議会先駆的事業活用基金規程の制定について ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金規程の制定について ・枚方市社会福祉協議会積立金規程の制定について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会資産運用規程の一部改正について ・人事計画について ・枚方市社会福祉協議会早期退職制度に関する規程の制定について ・枚方市社会福祉協議会基金及び積立金規程の廃止について 	13人

		<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第3回）について 評議員委嘱の同意について 基金及び運営資金積立金の運用状況について 	
3/18	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> 各部会（法人経営部会・地域福祉活動部会）の報告について 枚方市社会福祉協議会定款の一部改正について 枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について 枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について 枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 枚方市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について 平成24年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第4回）について 平成25年度歳末たすけあい募金配分計画について 平成25年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について 基金、積立金の状況について 	11人

（2）部会開催状況

①法人経営部会

月日	場 所	内 容	出席数
9/4	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 基金、積立金の再構築について 早期退職制度及び再就業制度について 社協だよりの広告掲載について 	5人
11/27	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 基金、積立金の再構築（案）について 人事計画（案）及び早期退職制度について 歳末たすけあい募金配分計画について 会員制度について 社協だよりの広告掲載について ガバナンス体制について 	4人
2/26	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 法人ガバナンスの強化について 公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）について 職員研修計画（案）について 成年後見制度に関する事業について 	5人

②地域福祉活動部会

月日	場 所	内 容	出席数
8/28	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス利用援助事業について 地域福祉活動支援助成について 	6人
12/14	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 歳末たすけあい募金配分金における地域福祉活動支援助成の内容について 	5人
2/6	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度歳末たすけあい募金配分金の見直しについて 	6人

③在宅福祉サービス部会

月日	場 所	内 容	出席数
9/6	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅福祉課の現状について Ⅰ くすの木園について Ⅱ 地域支援センターゆい Ⅲ 居宅介護・移動支援事業 ・通学支援事業（通学ガイドヘルパー）について 	4人

(3) 評議員会開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
5/29	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について ・平成23年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について ・平成24年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第1回）について ・指定特定相談支援事業所運営規程の制定について 	33人
9/28	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・平成24年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第2回）及び特別会計収入支出補正予算（第1回）について ・各種報告事項 	34人
12/21	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会地域福祉推進基金規程の制定について ・ボランティア基金設置及び管理に関する規程の全部改正について ・枚方市社会福祉協議会先駆的事業活用基金規程の制定について ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金規程の制定について ・枚方市社会福祉協議会積立金規程の制定について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会資産運用規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会早期退職制度に関する規程の制定について ・平成24年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第3回）について 	37人
3/28	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会定款の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について ・平成24年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補 	38人

		正予算（第4回）について ・平成25年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・基金及び運営資金積立金の状況について	
--	--	---	--

（４）枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム（第２期）の推進

経営戦略プログラム（第２期）では、社協の事業・財務・組織強化・充実を図るために達成すべき7つの目標を定めている。平成24年度は、その目標を具体化するために、職員で構成する「経営戦略プログラム（第２期）推進チーム」を設置。また、福祉や経営に精通する外部有識者（3人）で構成する「経営戦略プログラム（第２期）評価委員会」を開催し、第三者の視点から進捗状況等のチェックを行った。

平成24年度に取り組んだ内容は、多様な任用形態の職員体制や効率的な事務局体制を構築するために「人事計画」を策定。併せて、職員のスキルアップを図るために「研修計画」を策定した。

また、情報発信の強化としてホームページのリニューアルを行い、掲載情報の充実を図った。

基金の有効活用として、法人経営安定化のための積立金の再構築や、地域福祉推進に基金を有効活用するために新設基金の創設などにも取り組んだ。

○推進チームの開催

月 日	場 所	内 容	出席数
5/29	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略プログラム（第2期）の内容について 推進チームリーダーの選任 平成24年度の推進スケジュールについて 	8人
6/19	ラポールひらかた 施設長室	<ul style="list-style-type: none"> 基金の再構築について 成年後見制度に関する事業の検討について 地域貢献委員会について 	7人
7/26	ラポールひらかた 施設長室	<ul style="list-style-type: none"> 基金、成年後見制度、地域貢献委員会について 事務局機構改革について 	8人
8/14	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査について くすの木園民営化への対応について 居宅介護事業等（自主事業）の今後について 	7人
9/26	吹田市社会福祉 協議会	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献委員会の設置に向けて、先進地である吹田市社会福祉協議会を視察 	3人
10/12	岸和田市社会福祉 協議会	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度に関する事業に取り組むための事前調査として、先行社協である「岸和田市社会福祉協議会」の業務状況を視察 	4人
11/6	ラポールひらかた 施設長室	<ul style="list-style-type: none"> 吹田市および岸和田市社会福祉協議会の視察報告について アンケート調査の内容について 	6人
1/22	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献委員会について 成年後見に関する事業のための検討委員会（仮称）の検討について 公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）について 	7人
3/18	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査について 成年後見に関する事業の検討について 	6人

○評価委員会議の開催

月 日	場 所	内 容	出席数
9/5	ラポールひらかた 特別会議室	・経営戦略プログラム（第2期）の進行管理とこれまでの進捗状況について ・アンケート調査の実施方法について	10人
11/27	ラポールひらかた 特別会議室	・基金、積立金の再構築について ・人事計画および早期退職制度について ・権利擁護に関する取り組みについて ・地域貢献委員会について	11人
3/1	ラポールひらかた 特別会議室	・進捗状況の確認と評価方法について ・人事計画、研修計画について ・アンケート調査の実施にむけて	7人

(5) 第4次地域福祉活動計画

①ふくしのまちづくり円卓会議

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざし、枚方市の地域福祉をより一層推進するため、平成22年5月に策定した「第4次地域福祉活動計画」（計画期間：平成22年度～平成26年度）の進行管理を目的として、「ふくしのまちづくり円卓会議」を開催し、計画の推進状況の報告、進捗状況の評価、計画推進に向けての課題の整理及び検討を行った。

○円卓会議の開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
8/22	ラポールひらかた 研修室1	1. 第3回 円卓会議報告 2. 第4次地域福祉活動計画の進捗状況（中間報告） ・計画項目に関する地域と社会福祉協議会の取り組み ・地域の活動の現状報告（パワーポイント） ・校区の活動状況	13人
2/19	ラポールひらかた 集会室	1. 第4回 円卓会議報告 2. 第4次地域福祉活動計画の進捗状況について ・進捗状況についての報告 ・今後の取り組み～重点化すべき課題について検討 3. 情報提供 ・社協 生活支援活動強化方針について	13人

(6) 広報活動

①社協だよりの発行

号	発行日	印刷部数	号	発行日	印刷部数
116	6/1	180, 916	117	9/1	181, 235
118	12/1	181, 589	119	3/1	181, 840

※年4回発行、「広報ひらかた」と同時に、市内全戸配布

②社協紹介リーフレットの作成

社協の役割と実施事業を、より市民にわかりやすく広報するために、リニューアルしたリーフレットを1,500部作成した。リーフレットは、関係各団体や住民会員募集時の自治会長、視察対応時等で配布した。

③社協公式ホームページの運営

リニューアル後は、公式ホームページによる情報発信を積極的に行いアクセス件数も昨年度より増加した。【アクセス件数 25, 143 (H24.4.1~H25.3.31)】

(7) 第33回枚方ふれあいフェスティバル

『おこそう枚方の新しい風』をテーマに“障害のある人・ない人が共に手を取りあい、楽しく過ごしてもらえる”そんなふれあいの場になるように、枚方ふれあいフェスティバル実行委員会との共催で開催した。

- (日 時) 平成24年6月3日(日) 午前10時~午後4時
(場 所) 枚方市民会館大ホール・岡東中央公園一帯
(参加者) 約4,000人
(主 催) 枚方ふれあいフェスティバル実行委員会、枚方市社会福祉協議会
(後 援) 枚方市、枚方市教育委員会、北大阪商工会議所
(内 容) *映画会 「忍たま乱太郎」
*特設ステージ：和太鼓、ダンス、ライブ、コカリナ演奏、手話コーラス、他
*人形劇、ふれあいクッキー教室
*野外テント等での催し：各団体の活動紹介、相談コーナー、模擬店、他
*企画コーナー：パネル展示、造形教室(紙すき・木工)、腎バンク・アイバンク
キャンペーン 他

(8) 第24回枚方市健康・医療・福祉フェスティバル

健康・福祉推進都市宣言の趣旨を踏まえ、『みんなで実現 健康医療都市ひらかた』をテーマに、市民の健康と福祉に対する意識の高揚を図ることを目的に、「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催。本会も主催者として参画した。

- (日 時) 平成24年10月28日(日) 午前10時~午後3時30分
(場 所) ラポールひらかた
(主 催) 枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、大阪府枚方保健所、枚方市枚方市社会福祉協議会
(後 援) 枚方市教育委員会
(参加者) 2,400人
(内 容) *「健康を科学する体験型講座」 *講演会「お年寄りがかかりやすい病気」
*歯の検診コーナー、フッ素体験コーナー、8020達成者表彰
*からだと自然の恵み「薬草と絶滅危惧植物の展示」
*模擬店 *ボランティア相談コーナー *人形劇(やなぎ劇団)
*健康医療相談・各種検診・診断・測定など

(9) 第2回 ひらかた社協ふくしフェスティバル

「第2回 ひらかた社協ふくしフェスティバル」として開催。本会が実施する各種事業の紹介やボランティア活動、福祉団体の活動を広く市民に広報することを目的に各種催しを行った。

- (日 時) 平成24年11月17日(土) 午前10時~午後3時30分
(場 所) ラポールひらかた
(後 援) 枚方市
(協 賛) パナソニック AVC ネットワークス労働組合・パナソニック 電工労働組合本社総合支部
(参加者) 約1,000人
(内 容) *映画会「カンフーパンダ2」 *ミニステージ&ミニコンサート

*福祉パネルディスカッション

「温故知新「枚方の福祉」～障害者として問い続けてきた半生～」

*模擬店 *枚方社協、ボランティアグループ、各種団体の活動紹介 等

(10) 防火研修会「社会福祉施設の夜間の火災安全確保について考える」

福祉施設における火災安全上の諸問題を中心に、特に夜間に火災が発生した場合の避難対応マニュアルについての講習会を実施した。

(日 時) 平成24年9月11日(火) 午後1時30分～午後5時

(場 所) ラポールひらかた 4階 大研修室

(共 催) NPO 法人日本防火技術者協会

(内 容) 防火図上演習・火災事例に学ぶ・夜間避難マニュアルと避難訓練方法

(参加者) 49施設(組織会員・福祉施設)から76人

(11) 善意銀行事業

①善意銀行金銭口座収支計算書

(単位：円)

収 入		支 出	
前年度繰越金	5,404,621	指 福祉施設団体等	60,000
一般預託	0	定 被災地支援(送料代)	194,250
指定預託	60,000	預 福祉活動助成金	50,000
預金利息	846	託 (介護者(家族)の会)	
計	5,465,467	計	304,250

収入・支出残金 5,161,217円 は、次年度へ繰り越し。

②善意銀行物品口座預託品目

ラーメン	600食	トイレットペーパー	48個
男性用下着等	219枚	飲料	58ケース
タオル	530枚	ティッシュペーパー	95箱
石鹸	387個	その他 食品・備品等	

③善意の橋渡し物品

ポータブルトイレ	3台	車イス	2台
コンパクト介護車	1台	ギャッジベッド	5台

(12) 枚方市民生委員児童委員協議会の運営支援

地域における民生委員・児童委員の円滑な活動を支えることを目的に、枚方市民生委員児童委員協議会の運営の支援を行った。コミュニティソーシャルワーカー(CSW)や関係機関・団体との連携を強化し、福祉と共生のまちづくりをめざして、「地域社会での孤立・孤独をなくす運動」「児童虐待や犯罪被害から子どもを守る取り組み」「災害時要援護者避難支援活動の推進」などに取り組んだ。

特に、「災害時要援護者避難支援活動の推進」では、地域の実態把握や支援計画の作成、関係機関や団体との情報の共有化など、一層の充実を図った。

実施日	事業内容
4月 3日 10日 12日 27日 16～28日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状伝達式・新任民生委員児童委員研修会 子育てサロン「ゆりかご」（明倫・中宮・中宮北）参加10組 役員会、校区委員長会 会計監査 地区委員会
5月 8日 5月10日 10日 15日 17日 18日 29日 21～31日	子育てサロン「ゆりかご」（開成・山之上）参加5組 役員会、校区委員長会 「民生委員・児童委員の日」啓発活動（参加51人） 枚方市駅前・樟葉駅前・JR長尾駅前で、市民に救急絆創膏を3,500個を配布 子育てサロン「ゆりかご」事前研修 大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会 第64回大阪府民生委員児童委員大会（参加15人・被表彰者35人） 大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会 地区委員会
6月11日 12日 13～14日 18～29日	役員会 子育てサロン「ゆりかご」（招提・殿二・平野）参加13組 役員・地区リーダー管外研修会（総合福祉施設ヘリオス：高知県）参加53人 地区委員会
7月 3日 10日 12日 23～31日	社会を明るくする運動街頭キャンペーン（参加51人） 子育てサロン「ゆりかご」（津田・津田南・氷室）参加10組 役員会、校区委員長会 地区委員会
8月 1日 7日 7日 21日 27日 30～31日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状伝達式・新任民生委員児童委員研修会 子育てサロン「ゆりかご」事前研修 時事研修会（府社会福祉協議会）参加3人 夏休み児童映画大会「マジックツリーハウス」（2回上映 入場者数2,230人） 地区委員長研修会（府社会福祉協議会） 全国主任児童委員研修会（西日本）
9月 6日 10日 11日 13日 18日 18～28日	大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会 児童委員研究集会（府社会福祉協議会）参加4人 子育てサロン「ゆりかご」（高陵・磯島）参加13組 役員会・校区委員長会 大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会 地区委員会
10月 9日 11日 18～19日 24日 22～31日	子育てサロン「ゆりかご」（春日・東香里・香陽）参加5組 役員会、校区委員長会 全国民生委員大会（大分県） 中堅民生委員・児童委員研修会（府社会福祉協議会）参加11人 地区委員会

1 1月 7日	枚方市政功労者表彰式
8日	役員会・校区委員長会、オレンジリボンキャンペーン（枚方市駅周辺）
1 3日	子育てサロン「ゆりかご」（樟葉・樟葉北）参加14組
1 3日	枚方市個人情報保護審議会
1 4～1 5日	全民生委員児童委員管外研修会「輪島市門前地区民生委員児童委員協議会」 (参加296人)
1 6日	全国社会福祉協議会大会
2 0日	子育てサロン「ゆりかご」事前研修
2 1日	大阪府社会福祉大会
1 9～3 0日	地区委員会
1 2月 3日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状伝達式・新任民生委員児童委員研修会
1 1日	子育てサロン「ゆりかご」（樟葉南・樟葉西・船橋）参加8組
1 3日	役員会、校区委員長会
1 7日	福祉と共生のまちづくり（府社会福祉協議会）
1 8日	岩手県盛岡市民生委員児童委員協議会視察で来枚
2 5～2 8日	地区委員会
1 月 1 2日	役員新年懇親会
1 8日	大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会
2 1日	大阪府民児協連主任児童委員連絡会代表者会議
2 4日	大阪府民児協連河北ブロック連絡会総会
2 4日	民生委員・児童委員 市全体研修「ハンセン病について」
2 9日	大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会
2 月 4日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状伝達式
1 2日	子育てサロン「ゆりかご」（さだ・さだ東・さだ西）参加10組
1 4日	役員会・校区委員長会
2 1日	地区委員長研修「神戸こべっこランドの視察研修・実務研修」参加19人
1 8～2 8日	地区委員会
3 月 1 3日	役員会
1 4日	校区委員長会
2 1日	総会・全民生委員・児童委員研修会（出席430人） 「幸せって何だっけ？～被虐待の淵を生き抜いて～」 講師：株式会社イージェット 代表取締役 島田 妙子 氏

○部会・主任児童委員連絡会活動状況（役員会・幹事会等は除く）

ア) 高齢者福祉部会

- 4月 3日 研修会「民生委員と地域包括支援センターの関わりについて」
地域包括支援センター 社協こもれび
- 5月 1日 研修会「高齢者の口腔ケアについて」保健センター
- 6月 5日 管外研修会「兵庫県立総合リハビリテーションセンター」「神戸しあわせの村」
- 7月 3日 研修会「家庭における応急処置・救急法について」応急手当普及員 康本氏
- 9月 4日 全体研修会「高齢者の口腔ケアについて」歯科医師会 上羽氏
- 10月 2日 ひとり暮らし老人会連絡会との交流会（参加者 100人）

- 1 1月 6日 管内研修会「特別養護老人ホームひらかた聖徳園」
- 3月 5日 研修会「高齢者疑似体験について」保健センター

イ) 広報部会

- 4月 1日 「民児協ひらかた」第118号発行（編集会議6回開催）
- 8月 1日 「民児協ひらかた」第119号発行（編集会議7回開催）
- 9月18日 管外研修会「豊中市民児協広報部会との交流」
- 12月 1日 「民児協ひらかた」第120号発行（編集会議7回開催）
- 2月15日・20日、3月1日 大阪府民児協連機関紙講習会

ウ) 生活福祉部会

- 4月 8日 研修会「最近の悪徳商法の手口と対策について」枚方市立消費生活センター
- 5月 9日 研修会「生活福祉資金貸付制度と民生委員の役割」社会福祉協議会総務課
- 6月 1日 全体研修会「社会貢献制度について」大阪府社協 社会貢献推進室 守屋氏
- 7月 6日 管外研修会「大阪地方裁判所」
- 11月 2日 他市との交流「八尾市民児協生活福祉部会」
- 2月 1日 研修会「成年後見・相続・遺言についての基礎知識」大阪弁護士会

エ) 児童福祉部会

- 年間通じて「育児教室」「ひよこ（未熟児）教室」に参加協力
- 4月 4日 勉強会「ひよこ（未熟児）教室について」大阪府枚方保健所
- 6月 6日 管外研修「滋賀県立近江学園」
- 8月21日 「夏休み児童映画大会」において児童との交流活動（手遊び歌）
- 9月 5日 研修会「児童虐待の発見から通告・支援について」家庭児童相談所
- 10月 3日 研修会「ひよこ（未熟児）教室について」枚方保健所
- 11月 7日 全体研修会「不登校・ひきこもりの子どもの気持ちと支援について」
臨床心理士 本多氏
- 3月 6日 研修会「育児教室について」子育て支援室

オ) 障がい者福祉部会

- 4月 4日 研修会「車イス講習会」ボランティアグループたちばな
- 5月 8日 管外研修会「信楽青年寮」
- 6月 7日 他市との交流会「交野市民児協障がい者（児）福祉部会」
- 7月 5日 全体研修会「脳卒中患者の帰宅後の在宅ケアと地域での生活について」
ボバース記念病院 岸氏
- 10月 4日 管内研修会「市内4カ所の精神障がい者小規模授産施設」
- 11月 1日 研修会「障がい者虐待防止法について」障害福祉室
- 3月 7日 管外研修会「悲田富田林苑」

カ) 主任児童委員連絡会

- 5月 7日 管外研修会「兵庫県立子どもの館」
- 6月11日 大阪府民児協連主任児童委員連絡会議代表者会議
- 6月19日 南ブロック研修「ぴよんぴよん教室」見学
- 7月 2日 大阪府民児協連河北ブロック主任児童委員研修会「里親について」
- 7月24日 北ブロック研修「枚方若者ステーション」の見学
- 8月28日 東ブロック研修「交野警察署」の見学
- 8月30日～31日 全国主任児童委員大会（西日本）

- 9月 3日 中央ブロック研修「ファミリーポートひらかた」の見学
- 9月 3日 大阪府民児協連河北ブロック主任児童委員連絡会
- 9月10日 子育て支援広場と子育て支援室との交流
- 10月 1日 研修会「ジェノグラム」
- 12月10日 大阪府民児協連河北ブロック主任児童委員連絡会
- 2月 1日 主任児童委員研修会（大阪府社協）

(13) 枚方市赤十字奉仕団の運営支援

人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。社資増強運動をはじめ、健康生活支援講習支援員養成講習や救急法の普及を目的とした救急法救命手当短期講習会の開催。災害時を想定した炊き出し訓練の実施、献血の啓発事業等を実施し、広く市民に赤十字活動への参加協力が得られ、赤十字運動の推進を図ることができた。

① 奉仕団活動状況

- ・役員会 5/16、9/19、2/21、3/18

月日	場 所	内 容	出席数
4/1～ 3/31	市内全域	社員制度を基本とする赤十字の精神の周知を図るため社資募集(募金)を実施。 戸別募金 13,882,624 円 個人募金 2,351,434 円 利 息 90 円 合 計 16,234,148 円	368 分団
4/1～ 3/31	枚方市内 5ヶ所	東日本大震災義援金募金箱を市内社協関係機関に設置。赤十字社を通じ被災地に送金した。	募金総額 450,706 円
5/25	ラポールひらかた 大研修室	連合分団長会議 ・平成23年度事業報告及び平成23年度決算報告 ・平成23年度監査報告について ・平成24年度社資募集について ・赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会について ・平成24年度地域赤十字奉仕団ボランティア基礎研修について	33人
9/4～ 10/16	ラポールひらかた 研修室1	一般市民を対象に日常生活における介護の方法や家庭内における看護について赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会を実施。また、全課程(6日間)を修了した12人のうち、5人が家庭看護部会に入会した。	延べ 75人
10/20	関西医科大学付属 枚方病院	連合分団長研修会 ・平成24年度関西医科大学付属枚方病院「災害訓練(トリアージ訓練)」を見学	15人
10/26	ラポールひらかた 大研修室	連合分団長会議 ・平成24年度社資募集の中間報告について ・地域活動助成金(社資募集実績額)について ・枚方市赤十字奉仕団大会について ・連合分団長管外研修について ・家庭看護部会炊き出し訓練の報告について	30人
11/26	メセナひらかた 大会議室	枚方市赤十字奉仕団大会 市長感謝状及び社長感謝状、金・銀色有功章などを	70人

		含む、28人が日赤枚方地区長から表彰状を授与された。DVD「東日本大震災から1年」を上映後、講演。テーマは「日本赤十字社の救護活動について」 講師:日本赤十字社大阪府支部事業部長 梶 延弘 氏	
1/22	日本赤十字社近畿ブロック血液センター	連合分団長管外研修会 ・献血啓発用DVDを上映後、平成24年4月にオープンした、近畿ブロック血液センターを見学。 ・大阪府赤十字血液センター北大阪事業所事業課 新井主事より、「血液の現状」について説明。 [意見交換会] ・地域献血の現状と課題等について意見交換を実施 ・参加者 近畿ブロック血液センター 河所長 枚方市赤十字奉仕団 中嶋副委員長・西村会計・坂口会計監査	21人
2/26	ラポールひらかた研修室1	一般市民を対象に赤十字救急法概論や、人工呼吸・心臓マッサージなど、救急法救命手当短期講習会を実施。	26人
3/22	ラポールひらかた研修室1	連合分団長会議 ・平成25年度事業計画(案)・予算(案)について ・連合分団長就任承諾書について ・平成25年度社資募集にむけて ・地域活動助成金の報告について ・連合分団長管外研修会の報告について ・枚方市赤十字奉仕団大会の報告について ・婦人部炊き出し訓練報告について	28人

②部会活動状況(役員会・定例会等は除く)

ア) 婦人部会

月日	場 所	内 容	出席数
6/6	ラポールひらかた研修室1	・新校区婦人部長の紹介・管外研修会について ・平成23年度事業報告・決算報告について ・平成24年度事業計画・予算について	20人
7/19	和歌山県有田郡津波防災教育センター「稲むらの火の館」	管外研修会 濱口梧陵の防災精神や、「稲むらの火」の人命尊重の精神をふまえ、来るべき津波災害から大切な生命や暮らしを守ることを学び、広村堤防を見学。	35人
9/10	ラポールひらかた研修室2	・管外研修会の報告について ・炊き出し訓練の実施について	29人
11/17 12/1 12/8	枚方市民会館調理室 ラポールひらかた日常生活訓練室	婦人部会研修会 枚方市地域防災推進員研修会にあわせて、災害時の炊き出し訓練を3回実施。	延べ 48人
1/23	きらら8階地域防災センター研修室	研修会 「みんなで力をあわせて安全・安心まちづくり」をテーマに枚方市危機管理室田村課長代理より講演。防災センター備蓄倉庫・車塚公園マンホールトイレ・耐震性貯水槽等見学。	30人

2/12 2/20	枚方市駅前 献血ルーム周辺	献血事業 冬場は、輸血用血液が不足するため、献血街頭キャンペーンを2回実施する。 (結果) 200ml 7人・400ml 51人 成分献血 54人 合計112人	延べ 22人
2/12	ラポールひらかた 研修室2	・炊き出し訓練の報告について ・平成25年度事業計画・予算(案)について ・研修会の報告について	15人

イ) 家庭看護部会

月日	場 所	事 業 内 容	出席数
4/3 5/1	ラポールひらかた 研修室1	勉強会 ・包帯法の練習…三角巾を使用(たたみ方・頭部・腕吊り・耳)	35人
6/5	枚方市駅周辺	平成24年度赤十字社員増強運動に伴う、社資募集の街頭募金及び啓発活動を行う。 (募金総額) 30,614円	28人
10/20	関西医科大学付属 枚方病院	関西医科大学付属枚方病院「災害訓練(トリアージ訓練)」において、炊き出し訓練を実施。	27人
11/4	春日小学校	地域より依頼を受け、大阪府支部より講師を招き、「校区防災訓練」時に車いす講習会を実施。 地域の参加者 393人	9人
11/17	ラポールひらかた 集会室	第2回ひらかた社協ふくしフェスティバル 「包帯法・災害時高齢者支援講習」の実技	16人
12/4	ラポールひらかた 研修室1	勉強会 「みんなで力をあわせて安全・安心街づくり」をテーマに、枚方市危機管理室 田村課長代理より講演。	27人
2/5	日本赤十字社近畿 ブロック血液センター	管外研修会 ・献血啓発用DVDを上映後、平成24年4月にオープンした、近畿ブロック血液センターを見学。 ・地域献血について意見交換を実施 参加者 近畿ブロック血液センター 河所長 枚方市赤十字奉仕団家庭看護部会 高木部会長・榎本副部会長・中村書記	31人

* 参加協力事業

健康生活支援講習支援員養成講習や災害時高齢者生活支援講習会、日赤救急法(短期)講習会などの講師へのサポートを行った。

(14) 枚方・交野地区保護司会の運営支援

保護司の職務を支援する組織として、枚方保護区(枚方市・交野市)を範囲に活動。定期事業の他に、更生保護関係組織(更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会など)との連携支援など保護司会の運営支援を行った。

また、7月を強化月間とする「第62回社会を明るくする運動」については、実施委員会の運営から準備・開催まで、全面的な運営支援を行った。保護司数は、111人(平成25年3月末現在)。

○保護司会活動状況

月 日	場 所	内 容
4/12	ラポールひらかた 研修室1	広報部会 *第62回社会を明るくする運動 準備会 など
4/19	ラポールひらかた 大研修室	理事会・定例会・各部会 *社会を明るくする運動について ・各部会活動について
5/ 8	ラポールひらかた 施設長室	監 査 *平成23年度 事業報告・決算
5/19	ラポールひらかた 大研修室	理事会・決算総会 *平成23年度事業報告・決算報告・管外研修について
6/14	交野市立保健福祉 総合センター	第一期定期研修 『良好・不良措置と刑事司法手続きについて』 定例会 *退任、新任保護司紹介 *再任保護司委嘱状伝達 *社会を明るくする運動について
8/22	交野市立保健福祉 総合センター	保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会合同研修会 『つながるということ ～更生保護から考える～』 講師：大阪保護観察所 所長 西村 穰 氏 定例会 *物故者追悼式、管内研修等について
9/20	交野市立保健福祉 総合センター	物故者追悼式 定例会 *管内研修、定期研修等について*大阪更生保護大会について
10/18	交野市立保健福祉 総合センター	第二期定期研修 『対象者との接触と秘密保持について』 定例会 *退任、新任保護司紹介 *再任委嘱状伝達 など
10/29	ラポールひらかた 研修室2	新任保護司研修(上期新任保護司)『地区保護司会活動について』
11/15	西本願寺白光荘 京都保護育成会	管内研修 更生保護施設の見学 定例会 *更生保護大会受賞者表彰伝達
12/20	交野市立保健福祉 総合センター	第三期定期研修 『生活環境調整について』 理事会・定例会 *管内研修報告、互礼会等について
1/ 8	ひらかた仙亭	枚方・交野地区保護司会新年互礼会
2/20	交野市立保健福祉 総合センター	第四期定期研修『最近の薬物や脱法ハーブ事案の状況について』 講師：近畿厚生局 麻薬取締部調査総務課長 新内克幸 氏 理事会・定例会 *新任保護司紹介・再任保護司委嘱状伝達など
2/26	ラポールひらかた 特別会議室2	新任保護司研修(下期新任保護司)『地区保護司会活動について』
3/23	ラポールひらかた 大研修室	理事会・定例会 *平成25年度事業計画・予算(案)について *役員の変更について

・理事会 (13回) 4/19、5/11、5/19、6/14、8/22、9/20、10/18、11/15、12/20、
2/13、2/20、3/11、3/23

・役員調整会議の開催 (5回) 6/18、9/18、10/16、1/8、3/4

○更生保護啓発活動

月 日	場 所	内 容
5/11	ラポールひらかた 大研修室	枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会 *第62回社会を明るくする運動について

7/3	枚方市民会館 大ホール	社会を明るくする運動 ※雨天のためパレードは中止 式典（参加者数：510人） 街頭キャンペーン（絆創膏10,000個配布）
7/25	交野市立保健福祉 総合センター	枚方・交野地区更生保護大会 講演会（参加者数：422人） テーマ『私の人生観・生き方・夢・希望・情熱』 講師：千房(株) 代表取締役 中井 政嗣 氏
8/25～26	枚方市役所周辺	ひらかたまつり出展 社明運動啓発 (風船2,000個、絆創膏4,000個配布)
7月～9月	第62回社会を明るくする運動作文コンテスト(小中学生対象)(応募数:201点) 枚方・交野両市中学3年生に、社明運動ロゴ入りクリアファイル配布 (4,543枚)	

・候補者検討協議会の開催(11回)

[北部] 4/26 [中部] 4/17、8/29、11/28 [南部] 4/24、8/17、11/8
[東部] 4/23、9/3、11/6 [交野] 4/9

・広報活動 ●機関紙「みのり」の発行(第72号・第73号) 各1,800部発行
●ホームページの公開 ●FMひらかた出演(年2回)

2. 住民会費等事業

社会福祉協議会の自主性を高め、行政の福祉施策とは違った住民主体の地域福祉活動を進めるために、校区福祉委員会を窓口として、校区コミュニティ協議会や自治会をはじめとする、さまざまな機関・団体・事業所等の協力により、住民会員の募集を行った。集まった会費は、校区福祉委員会の活動助成をはじめ、ボランティア活動への支援など、誰もが住みよいまちづくりの推進のため有効に活用した。

(1) 組織会員状況

社会福祉協議会が地域福祉推進の中核として機能できる組織づくりを目的とした組織会員は、本会の基本的な構成員で、本会事業運営に参画する団体・機関であり、積極的な加入促進を行うとともに、組織会員対象とした研修会などを行った。

◎組織会員数 157団体(平成25年3月31日現在)

(2) 社協会員募集状況

7月を会員募集強化月間として、会員を募集

会員種別	会員数	詳細	
住民会員	26,609人	31,896口	15,948,000円
特別住民会員	3人		60,000円
法人賛助会員	110法人	123口	1,230,000円
		福祉協力金	4,607,202円
		総計	21,845,202円

(会費の使い道)

校区福祉委員会活動助成(45校区)	10,765,507円
校区福祉委員会協議会運営費	253,500円
北河内ボランティアセンター助成	100,000円
ボランティアアドバイザー活動助成	1,488,000円
ボランティア保険助成	207,500円
枚方ふれあいフェスティバル開催助成	400,000円
ひらかた社協だより印刷配布費	6,039,313円
社協紹介リーフレット作成費	132,300円

住民会員募集事務経費	1,329,052 円
法人運営経費	840,000 円
次年度繰越金	290,030 円
合 計	21,845,202 円

3. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動は福祉をはじめ、保健・医療・環境・教育・文化・スポーツ・防災など幅広く、活動内容も多様化している。また、高齢化・核家族化が進む中、ひとり暮らしの高齢者が増え、さまざまな個別的な生活支援が求められるようになってきている。今年度は、各校区の担当者と情報交換を行い、個別支援について地域のボランティアにつなげる対応をすすめてきた。また、災害ボランティアセンター設置・運営の見直しを行い、大規模災害時だけでなく小・中規模災害時にも対応できるようなマニュアルの改訂版の作成に着手した。

(1) 枚方市ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター開所状況 (単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	20	21	22	21	23	19	22	21	19	19	19	20	246

② 相談・コーディネート活動

1) 来所者状況

(単位：人)

来所形態	件数
来所	4,790
電話	1,683
計	6,473

性別	件数
男性	2,215
女性	4,258
計	6,473

内 容	件数
ボランティア活動希望	632
ボランティア派遣依頼	626
現任ボランティアの相談	2,038
ボランティア保険受付	915
各種情報提供等	1,587
講座・講習会参加者	460
サロン参加者	215
計	6,473

2) 来所者内訳

来所者	件数
現任ボランティア・グループ	3,252
学 生	135
一般市民(主婦・シニア等)	1,580
地域(民生委員・福祉委員会・団体)	475
学 校・教 育 関 係	121
福 祉 施 設・医 療 関 係	581
行 政・他 市 社 協	329
計	6,473

対応結果	件数
調整(活動・依頼)	1,255
調整不可	1
取り下げ	2
相談・情報提供・ 講座・他	5,215
計	6,473

3) ボランティア登録状況（平成25年3月末現在）

- ・登録者数 830人（うち新規登録者 172人）
- ・連携しているボランティアグループ
ボランティアグループ連絡会加入（46グループ）、その他（33グループ）の計79グループ

③枚方市ボランティアセンター運営委員会開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
7/4	ラポールひらかた 研修室1	・平成23年度「ボランティア活動推進事業」事業報告 ・平成24年度「ボランティア活動推進事業」事業計画 ・相談事例・意見交換等	17人
2/20	ラポールひらかた 研修室1	・平成24年度ボランティア活動推進事業の進捗状況 ・枚方市ボランティアセンターの課題 ・相談事例・意見交換等	15人

④ボランティアグループ連絡会の活動状況

現在、市内46団体で構成し、各団体が情報交換・連携を図りながら活動を展開している。また、「大阪府市町村ボランティア連絡会」に参加し、府レベルの活動にも参画している。

1) 枚方市ボランティアグループ連絡会

- ・連絡会の開催（年間6回） ・役員会の開催（年間6回）
- ・枚方市敬老式典での高齢社会憲章朗読（9/7）
- ・「赤い羽根」募金運動 街頭募金協力（10/1、10/2 計2回）
- ・社協ふくしフェスティバルの運営に協力（11/17）
- ・機関紙「ひろば」の発行（年1回/1000部）

2) 大阪府市町村ボランティア連絡会（計8回） ・総会、代表者会議、河北ブロック交流会、研修会

⑤ボランティア関係機関との連携

1) ボランティア、市民活動中間支援組織との連携

- ・北河内ボランティアセンター、ひらかた市民活動支援センターとの連携・協働を図り、ボランティアコーディネーションや事例検討などの情報交換を行った。
- ・本センターと上記2センターによる3センター会議の開催 年間7回
- ・学校訪問等：各センターの資料、活動メニューなどを配布
- ・北河内ボランティアセンターと「施設職員支援セミナー」の共同開催（1/30）
テーマ「災害時、あなたの施設は大丈夫？第2弾」神戸大学大学院 准教授 大西 一嘉 氏
- ・NPO法人 ひらかた市民活動支援センター理事就任

2) 枚方市「ボランティア関係課会議」への参加（12/6）

3) 他市社会福祉協議会との交流会

- ・河北ブロックボランティアセンター担当者会議（9/19、1/24）
- ・泉佐野市ボランティアセンター運営委員との交流会（7/3）
- ・寝屋川市ボランティアアドバイザーとの交流会（8/30）

⑥情報提供、啓発活動の状況

1) 機関紙、冊子の発行

- ・情報紙『ぼらんていあアドバイザーニュース』発行（奇数月/年6回/各1,200部）
- ・ボランティアセンターのパンフレット配布

2) 情報媒体への提供・協力

- ・社協だより・広報ひらかた・FMひらかた・ボランティアOSAKA
- ・市社協及び府社協等関係機関のホームページ等

3) 各種機器、機材の貸与事業

・点字板 8件 ・アイマスク6件 ・白杖 7件 ・点字ブロック7件

⑦ ボランティアセンターホームページの運営

ホームページを活用して、センターが保有する各種情報の提供を行った。助成金情報をはじめ、福祉施設からのボランティア募集情報や、ボランティアグループからボランティア参加の呼びかけ等を掲載。また、連携をとっているボランティアグループの情報を掲載し、随時更新した。

(2) ボランティア・市民活動者研修・育成活動

① ボランティア体験プログラム…市内各施設の協力を得て、ボランティア体験の機会を設定した。

【実施期間】 7月2日～8月31日

【協力施設】 34施設 (障害者施設：4 / 高齢者施設：14 / 保育所：16)

【参加人数】	参加対象	高校生以下	大学生	社会人	合計
	人数(人)	11	14	11	36
	延日数	16	41	19	76

② ボランティア・市民活動講座

- ・ボランティアスクール手話講座 (5/29、6/12・19・26 全4回、各日25人)
- ・手作りおもちゃ講習会 (7/12、10/4 各日40人)
- ・おもちゃドクター養成講座 (7/21、7/28 各日10人)
- ・車いす講座 (10/24 20人)
- ・ボランティアスクール点字講座 (11/7・14・21 全3回 各日15人)
- ・ボランティア健康講座 (2/20 50人)

③ 小中学校への福祉体験講座を実施

市内小学校5校、中学校2校で、車いすや、アイマスク・白杖体験を実施。

(3) ボランティア・アドバイザー育成・設置事業

ボランティア活動の経験を生かして、ボランティア活動に関する相談や情報提供を行う「ボランティア・アドバイザー」を設置。今年度はアドバイザーとグループのリーダー研修を実施し、ボランティアグループが抱える問題点や、課題を明確にし、グループで話し合うきっかけ作りを行った。

【ボランティア・アドバイザー】 16人

1日延べ4人、2交替の体制で配置。(従事時間：午前9時30分～午後5時)

※ミーティングを毎月第4(火)、年間12回開催

① ボランティア・サロンの開催

「ボランティアセンターはボランティア活動者の交流地点」をテーマに、アドバイザーが企画・運営。

4月	「お掃除棒を作しましょう」	(15人)
5月	「枚方・淀川の野鳥のお話」	(15人)
6月	「お花のブローチを作しましょう！」	(10人)
7月	「水きり絵」	(16人)
8月	「人形劇」	(20人)
	「回る鳥、はねるカエルを作ります」	(20人)
9月	「刺し子ふきんを作ろう」	(10人)
10月	「折り紙で作る万華鏡」	(10人)
11月	「道しるべで、枚方を楽しく学ぼう！」	(20人)
12月	「お正月飾りをみんなで作ろう！」	(10人)
1月	「すぐ使えるバスタオルの防災ずきん」	(10人)

2月	「端布で作るお花のブローチ」	(15人)
3月	「薬と健康食品の正しい使い方」	(25人)
計 13回 / 参加者:		196人

(4) 災害時の支援体制づくり

今年度は、台風や大雨による被害が発生し、大規模災害だけではなく、小・中規模災害にも対応できるよう災害時支援ボランティアを対象に活動実態を把握するためのアンケートを実施するとともに、災害時の支援に関する研修を実施した。

災害ボランティアセンターの設置訓練では、模擬訓練だけではなく、実際に避難所設定を行い、災害時支援ボランティア対象に炊き出し訓練を実施した。

8月には、枚方市と共催で東日本大震災復興支援ボランティアバスを運行し、岩手県大槌町では海岸清掃を行い、陸前高田市では被災地の視察を行った。

また、「枚方市災害時要援護者避難支援事業」では、枚方市とともに、校区コミュニティ協議会の協力による地域を基盤とした災害時要援護登録者の避難支援体制づくりの準備を行った。

① 災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーションの実施

改訂版作成中の『災害ボランティアセンター設置・活動マニュアル』に基づき、見直し様式等使用しながら、災害ボランティアセンターの設置訓練を実施した。訓練参加者からの評価・意見を集約し、マニュアルの見直しに活かしていく。

月 日	場 所	内 容	出席数
1/18	ラポールひらかた 大研修 研修室1 円形広場	【テーマ】小中規模災害（水害）を設定し、市民にも参加してもらえる避難所（炊き出し）訓練 1) 災害ボランティアセンター開設訓練 2) 災害ボランティアセンター運営訓練 3) 振り返り・研修 河北ブロック7市より、8月14日の水害について報告等	95人

② 災害時支援者の養成

災害時支援ボランティア全員に活動状況を把握するアンケートを実施し、緊急対応のできるボランティア等、活動別にファイリングを行った。また、10月3日に避難所生活の栄養状態についての研修を実施。

③ 災害時要援護者支援ボランティアの募集

- ・募集期間 通年
- ・登録者数 182人
- ・啓発方法 広報ひらかた、社協だよりに募集記事を掲載。募集チラシを配布。

④ 災害時要援護者避難支援事業の実施

枚方市の委託を受け、民生委員児童委員協議会との連携により、災害発生時に、自力で指定避難場所まで避難することが困難な高齢者や障害者を対象とした登録受付、登録者リストの作成を行い、迅速な安否確認、円滑な避難誘導などの体制づくりをすすめた。

〈要援護者登録状況〉1,061人（男性 261人 女性 800人）（平成25年3月末現在）
65歳以上の高齢者961人、障害者100人

また、次年度に向けて、避難支援体制づくりの強化について枚方市と検討を行い、校区コミュニティ協議会を中心とした地域での避難支援グループづくりなどの取り組みをすすめる準備を行った。

⑤ 東日本大震災復興支援ボランティアバス運行

平成24年8月9日（木）～12日（日） 3泊4日（内現地1泊、車中2泊）

参加ボランティア 39人

8月10日（金）岩手県大槌町吉里吉里海岸清掃

8月11日（土）岩手県陸前高田市 語り部の案内で被災地を視察

4. 小地域ネットワーク活動推進事業

高齢者、障害者（児）、子育て中の親子などが、地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小地域で行う体制を整備することを目的とした小地域ネットワーク活動を、校区福祉委員会を中心に展開した。その活動を支える担い手の養成や研修、相互交流等の機会を積極的に開催した。

(1) 校区福祉委員会協議会

① 役員会開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
4/24	ラポールひらかた特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度校区福祉委員会協議会事業報告について 平成23年度校区福祉委員会協議会決算・監査報告について 平成24年度住民会員募集について 各種委員会委員の選任について 	10人
8/6	ラポールひらかた集会室	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度住民会員募集の中間報告について 校区ふくしのまちづくり計画合同会議について(報告) 食品衛生講習会について(報告) 校区ふくしのまちづくり合同会議について いきいきサロン健康作りサポーター養成講座について 	9人
12/17	ラポールひらかた特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度住民会員募集の中間報告について 地域福祉活動助成金について 生活安全推進協議会委員の選任について CSW講演会について(報告) 府小地域ネットワーク活動リーダー研修会について 	8人
3/7	ラポールひらかた特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度住民会員募集及び歳末たすけ合い募金の報告について 地域福祉活動支援助成金について 平成25年度校区福祉委員会協議会事業計画(案)について 平成25年度校区福祉委員会協議会関係予算(案)について 全体会及び会長研修会の開催について 	10人

② 全体会議開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
5/31	ラポールひらかた大研修室	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度校区福祉委員会協議会事業報告について 平成23年度校区福祉委員会協議会決算・監査報告について 平成24年度住民会員募集について 	45人

		<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロン健康作りサポーター養成講座について ・ふくしのまちづくり円卓会議について 	
3/15	ラポールひらかた 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロン健康作りサポーター養成講座について ・平成24年度社協会員及び歳末たすけ合い募金の報告について ・平成25年度校区福祉委員会協議会事業計画(案)について ・平成25年度校区福祉委員会協議会関係予算(案)について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ・ひとり暮らし老人会運営活動助成金に関する書類の提出について ・平成25年度ボランティア保険について ・平成25年度校区献血日程について ・冬期献血街頭キャンペーンの結果報告について 	45人

③各エリア会議開催状況

ア) 北エリア会議

月 日	場 所	内 容	出席数
9/5	樟葉生涯学習市民センター 第1集会室	【研修会】 介護セミナー 講師 大王製紙株式会社 介護アドバイザー他 ・平成24年度北エリア管外研修会について	38人
10/19	まちの学び舎 ハルハウス他	【管外研修】 ・まちの学び舎ハルハウス ・特定非営利活動法人 S a l u t 体験町家 和創庵	30人
10/29	ラポールひらかた 研修室1 他	【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象として 活動テーマ別の交流会を開催	38人
3/27	ラポールひらかた 研修室2	【研修会】 「みんなで力を合わせて安全・安心なまちづくり (防災編) 講師: 枚方市危機管理室 職員 【会議】 ・各校区の防災の取り組みについて ・平成25年度各校区の活動について	22人

イ) 中エリア会議

月 日	場 所	内 容	出席数
6/18	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度中エリア事業計画について ・地域住民が集える場所の運営について ・中エリア管外研修について 	30人
10/31	池田市伏見台地区 福祉委員会	【管外研修】 池田市伏見台地区福祉委員会との活動交流会	32人
12/3	ラポールひらかた 研修室1 他	【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、	38人

		活動テーマ別の交流会を開催	
3/29	ラポールひらかた 研修室2	【会議】 ・平成25年度中エリア活動計画について ・「校区ふくしのまちづくり計画」の進捗状況報告 【懇談会】 テーマ 「小地域ネットワーク活動の現状とこれからの取り組みについて」	19人

ウ) 南エリア会議

月 日	場 所	内 容	出席数
7/19	ラポールひらかた 研修室1	・平成24年度南エリア事業計画について ・管外研修について ・懇談会「福祉活動の課題と具体的解決策について」	35人
10/3	岬町淡輪地区 「みんなのたまり場」	【管外研修】 岬町淡輪地区福祉委員会との活動交流会	39人
12/11	ラポールひらかた 研修室1 他	【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、 活動テーマ別の交流会を開催	43人
3/26	ラポールひらかた 研修室1	・平成25年度南エリア事業計画について 【懇談会】 テーマ「いきいきサロン活動を楽しく盛り上げていくために」 講師 枚方市立保健センター 作業療法士 稲葉耕一 氏	31人

エ) 東エリア会議

月 日	場 所	内 容	出席数
8/2	津田生涯学習市 民センター	・東エリア管外研修会について ・校区ヒアリングから見えてきた課題	24人
12/17	津田生涯学習市 民センター	【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、 活動テーマ別の交流会を開催	30人
3/26	積水ハウス（株）	【視察研修】 積水ハウス（株）総合住宅研修所	20人

(2) 研修会開催状況

①校区福祉委員会活動者研修会

月 日	場 所	内 容	出席数
2/5	ラポールひらかた 大会議室	〈テーマ〉 「地域福祉活動の担い手の発掘をいかに進めるか」 講師 桃山学院大学 教授 松端 克文 氏	120人

②校区福祉委員会会長研修会

月 日	場 所	内 容	出席数
3/15	ラポールひらかた 研修室1	〈テーマ〉 「障害のある人が地域で安心して暮らしていくために」	45人

		講師 京都ノートルダム女子大学 准教授 酒井 久美子 氏	
--	--	---------------------------------	--

③校区福祉委員会会計担当者研修会

月 日	場 所	内 容	出席数
6/5	ラポールひらかた 大研修室	・校区福祉委員会の活動と財政について ・校区福祉委員会会計の処理について	78人

④いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座

月 日	場 所	内 容	出席数
8/8 8/21	ラポールひらかた 大研修室	「転倒予防に簡単で効果のある体操の実習」他 講師 枚方市立保健センター 作業療法士、理学療法士、保健師、栄養士	66人

(3) 小地域ネットワーク活動推進事業

①各校区の地域福祉活動の推進

市内全45校区福祉委員会が、各校区の地域特性に応じて住民主体で取り組む小地域ネットワーク活動の支援を行った。

1) 個別援助活動

- ・地域で支援を必要とする人に対する見守り・声かけ訪問
- ・外出することが困難な人へ食事を提供するとともに、安否確認などを行う配食活動

2) グループ援助活動

- ・高齢者等を対象に、住民の憩いの場づくりとしてのいきいきサロン活動
- ・子育て中の親子が集まり、親同士の情報交流等を行う子育てサロン活動
- ・住民全般を対象とした世代間交流活動

3) 校区福祉委員会等活動

- ・福祉講座やボランティアスクール等、地域住民に対する福祉啓発活動
- ・担い手の養成等を目的とした各種研修会の開催

②第2次校区ふくしのまちづくり計画の策定、計画の推進

市内45校区福祉委員会は、地域福祉の推進を目的に、平成16年度から平成19年度までの4ヶ年にわたり、順次「校区ふくしのまちづくり計画」の策定を行った。5ヶ年の計画期間の最終年度を迎えた校区は、計画の推進状況の振り返りを行うとともに、住民アンケートや懇談会などを通じて、「第2次校区ふくしのまちづくり計画」の策定に取り組んだ。今年度は、12校区が最終年度を迎え、新たな計画づくりを行った。

※第2次計画策定校区：12校区 北エリア（樟葉・牧野・樟葉西）、中エリア（高陵・中宮北）
南エリア（東香里・川越・さだ・さだ東・さだ西）
東エリア（津田・菅原）

1) 合同懇談会の開催

月 日	場 所	内 容	出席数
7/6	ラポールひらかた 大研修室	第2次計画を平成23年度に策定した校区(10校区)及び平成24年度に策定予定校区(全12校区)を対象に、第2次校区	61人

		<p>ふくしのまちづくり計画の進捗状況についての報告、計画の必要性について講師を交えパネルディスカッションを開催。また、グループワークで各校区の計画の進捗状況をふり返り、情報共有・意見交換を行い、新たな計画づくりについて話し合った。最後に講師によるまとめ、助言をもって終了した。</p> <p>・パネルディスカッション パネラー 講師、春日校区、交北校区 講師：佛教大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 所 めぐみ 氏</p>	
--	--	--	--

2) 小地域ネットワーク活動推進事業に関する会議、研修

月 日	場 所	内 容	出席数
1/29	大阪国際交流センター	<p>テーマ 「買い物困難者を地域で支える仕組み ～地域における高齢者等の生活支援のあり方を探る～ 講 師 桃山学院大学社会福祉学部 教授 松端克文 氏 主 催：大阪府社会福祉協議会</p>	38人

3) 食品衛生講習会

月 日	場 所	内 容	出席数
7/20	北河内府民センター 一会議室	・食中毒予防について	56人

(4) その他の活動

- ・社協住民会員募集の協力（7月）
- ・献血街頭キャンペーンの参加
 夏期（ 7/24 、 7/31 、 8/8 、 8/27 ）
 冬期（ 12/10 、 12/13 、 1/25 、 1/28 ）
- ・歳末たすけあい募金運動の協力（12月）

5. 助成事業

福祉団体やひとり暮らし老人会などの当事者組織が、円滑な組織運営や活動を行えるように助成するとともに、連絡会の活動支援を行った。

(1) 枚方市福祉団体連絡会の活動援助

①福祉団体連絡会開催状況（総会1回、定例連絡会7回 計8回）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/17	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・交流研修会の報告について ・総会について 	12人
5/28	ラポールひらかた 研修室1	<p>[総会] ・平成23年度事業報告・決算・監査報告 ・平成24年度事業計画・予算（案） ・研修会</p>	48人
7/23	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・医療・福祉フェスティバル ・市要望書について 	11人

8/20	ラポールひらかた 特別会議室	・市要望書説明会について ・第2回管外研修会について ・障害者週間啓発イベントについて	12人
11/19	ラポールひらかた 特別会議室	・市要望書説明会について ・障害者週間キャンペーンについて	13人
1/15	ラポールひらかた 特別会議室	・障害者週間啓発イベント報告 ・民間バス借り上げ補助金申請について ・2月交流会について	14人
3/11	ラポールひらかた 特別会議室	・平成24年度決算見込みについて ・4月交流会について	14人

②企画委員会の開催

- ・年9回開催 委員5人（監事を除く連絡会役員）
- ・連絡会での提案・検討内容及び主催事業の企画・検討を行った。

【開催日】5/10、7/12、7/19、8/9、10/22、12/21、1/28、2/27、3/29

③研修会の開催（年3回開催：管内研修会1回・管外研修会・2回）

月 日	場 所	内 容	出席数
5/28	ラポールひらかた 研修室1	《第1回 管内研修会》「ひらかたで生きた人」 講 師：元枚方鍵屋資料館 館長 平尾 賢二 氏	49人
7/6	池田市	《第1回 管外研修会》 場所：インスタントラーメン発明記念館 見学	32人
12/11	舞鶴市	《第2回 管外研修会》 場所：京都社会福祉法人 まいずる福祉会 見学	41人

④交流会の開催（年2回開催）

各団体会員相互の交流を深めるために、交流会を開催し親睦を深めた。

月 日	場 所	内 容	出席数
4/9	愛知県名古屋市	有松絞会館・リニア鉄道館	41人
2/7	ラポールひらかた 日常生活訓練室	料理教室 ワンプレートランチ (ローストビーフ・温野菜・スープ他) 講師：聴覚障害児親と子の会 若槻 美可 氏	22人

⑤健康・医療・福祉フェスティバル開催に協力 模擬店参加（3団体）

⑥社協ふくしフェスティバル開催に協力 模擬店参加（1団体）

⑦障害者週間啓発キャンペーン 12/4

午前 枚方市駅ロータリー付近にて啓発用ティッシュ配布
午後 イベント…和太鼓・紙芝居・マリimba演奏

（2）枚方市ひとり暮らし老人会連絡会の活動援助

校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会の援助のもとに結成された、ひとり暮らし老人会の連絡調整を図り、校区福祉委員会・社会福祉協議会及び関係機関・団体との連携を密にし、組織の充実・強化とひとり暮らし老人の福祉向上を目的として、次のような活動を推進した。

【ひとり暮らし老人会設置状況】

平成24年 4月1日現在

当該校区福祉委員会数	設置数	会員総数
45校区	42会	1,411人

①連絡会の開催状況

1) 役員会 4/25, 6/27, 7/25, 8/22, 9/19, 10/17, 11/28
12/19, 1/23, 2/20, 3/18 計11回

2) 全体会

月日	場 所	内 容	出席数
5/30	ラポールひらかた 研修室1	・平成23年度事業報告・決算報告について ・平成24年度事業計画(案)予算(案)について ・会長・役員研修会(管内)について	42人
10/31	ラポールひらかた 研修室1	・平成24年度上半期事業報告について ・平成24年度下半期事業予定について ・アンケート結果について	41人
2/27	ラポールひらかた 研修室1	・平成24年度事業進捗状況について ・平成24年度予算執行状況について ・連絡会活動事業補助金の実施(支出)状況について ・平成25年度事業計画(案)予算(案)について	40人

②研修会の開催状況

1) 会長・役員研修会(管内研修)

月日	場 所	内 容	出席数
8/28	ラポールひらかた 大研修室	1部 「高血圧症について」 講師 亀岡内科 医師 亀岡 慶一 氏 2部 アトラクション 舞踊 等	88人

2) 会長研修会(管外研修)

月日	内 容	出席数
11/2	研修先：積水ハウス 納得工房 (京都府木津川市) 高齢者でも、安心・安全に生活することができるバリアフリー住宅について体験しながら学ぶ。	38人

3) 全体研修

月日	場 所	内 容	出席数
3/28	ラポール ひらかた 大研修室	映画「その木戸をとおって」(2回上映)	延べ 346人

4) ブロック別交流・研修会

月日	場 所	内 容	出席数
10/22	ラポールひらかた 大研修室	【Aブロック(9会)】 ・ひらかたのお話 ・ハーモニカ合奏と合唱	94人
10/24	ラポールひらかた 大研修室	【Bブロック(7会)】 ・講演「みんなで力をあわせて安全・安心のまちづくり」 「私たちが日常生活から得たもの」	67人

7/11	ラポールひらかた 大研修室	【Cブロック（6会）】 ・講演「元気に年を重ねるには」 「振込詐欺・ひったくりについて」	104人
2/13	香里団地D地区 集会所	【Dブロック（5会）】 ・講演「健康体操」	25人
10/25	宮之阪集会所	【Eブロック（5会）】 ・講演「認知症について」 ・日舞、マジック、合唱	27人
11/22	藤阪ハイツ管理 事務所ホール	【Fブロック（5会）】 ・講演「エンディングノートの必要性 ～今、伝えたいこと～」	70人
10/26	津田生涯学習市民 センター	【Gブロック（4会）】 ・各会の活動報告、演芸タイム	62人

③関係機関・団体等との連携事業の状況

月日	場 所	内 容	出席数
10/2	ラポールひらかた 大研修室	民生委員児童委員協議会「高齢者福祉部会」との懇談会 (会員対象) 講演「転倒予防について」講師 保健センター 理学療法士 栃川 和宏 氏 交流会：各テーブルごとで話し合い アトラクション（ミニ・コンサート）	104人 (内会員) 76人

④ 小学唱歌を歌う会「赤いベレー」

- 1) 月例開催状況 ・年間11回 1, 113人（延べ人数）
主に、メセナひらかた大会議室及びラポールひらかた大研修室で活動
- 2) 主催行事 *友愛訪問：特別養護老人ホーム「聖徳園」（6月30日、29人）

6. 献血推進事業

厚生労働省は、血漿分画製剤を含むすべての血液製剤の国内自給をめざして、献血人口の拡大と400ml献血・成分献血の献血者を安定的に確保する必要性を関係機関等に強く訴える中、平成24年度は、400ml献血・成分献血の推進を図るとともに、大学生など若い世代がキャンペーンに参加し若者に献血協力を呼びかけた。また、枚方市駅献血ルームの啓発活動として、関係機関・団体等の協力により、市内全域にポスターを掲示することができ、一定の成果を上げることができた。

(1) 事業内容

①献血推進協議会開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
6/26	ラポールひらかた 研修室2	・平成23年度枚方市献血推進協議会事業報告及び平成 24年度事業計画について ・平成23年度大阪府献血実績及び供給状況について ・枚方市駅献血ルームの献血実績について ・平成24年度大阪府献血推進計画について ・枚方市冬期献血街頭キャンペーンの結果について	16人

		・枚方市夏期献血街頭キャンペーンについて	
10/30	日本赤十字社近畿ブロック血液センター会議室	・枚方市夏期献血街頭キャンペーン結果について ・枚方市冬期献血街頭キャンペーンの計画について ・冬期の献血者確保について ・血液事業の現況について	14人

②研修会開催

10月30日 日本赤十字社近畿ブロック血液センターを見学。参加者14人

③街頭キャンペーン実施状況

京阪枚方市駅前及び京阪樟葉駅前、京阪枚方市駅献血ルーム周辺で、枚方市献血推進協議会委員ならびに献血推進員（校区福祉委員会会長）が啓発用ティッシュペーパーを配布しながら献血協力を呼びかけるなどの啓発を行った。また、キャンペーン実施場所周辺を広報車で回り、献血協力を呼びかけた。

(単位：人)

	実施日	場 所	参加者数	受付者数	採血者数
夏 期	7月24日	枚方市駅前（ルーム前）	13	57	46
	7月31日	枚方市駅前（ルーム前）	16	57	49
	8月 8日	樟葉駅前	12	26	19
	8月27日	樟葉駅前	15	35	27
小 計			56	175	141
冬 期	12月10日	樟葉駅前	15	66	52
	12月13日	枚方市駅前（ルーム前）	17	69	58
	1月25日	枚方市駅前（ルーム前）	17	49	38
	1月28日	樟葉駅前	10	45	30
小 計			59	229	178
合 計			115	404	319

【実施時間】 午前10時30分～11時30分 午後1時～2時

④校区福祉委員会との連携

校区福祉委員会と連携し、27校区において献血を実施した。実施にあたり、広報活動など積極的に援助・協力するとともに、献血に関する必要な情報提供を行った。なお、広報活動として、PR用チラシの配布（全戸配布用・回覧用）とポスターの掲示を行った。また、枚方市駅献血ルームの冬期啓発ポスターを各校区福祉委員会に配布し献血推進の啓発に努めた。

⑤関係機関・団体等との連携

関係機関・団体等との連絡調整を図り、組織的・効果的な献血推進活動を展開した。

(2) 枚方市献血実績

(単位：人)

実施区分(域)	①受付者数	③採血者数 ②/①	採血者内訳			主催団体 実施場所等
			200ml	400ml	成分	
街 頭	3,234	2,456 75.9%	73 3.0%	2,383 97.0%	0 0.0%	ビオルネ 樟葉駅前
学 域	1,412	908 64.3%	137 1.4%	771 84.9%	0 0.0%	高校・短期大学 大学 等

職 域	1,666	1,370 82.2%	125 9.1%	1,245 90.9%	0 0.0%	事業所・病院 市役所等
校 区	1,490	1,133 76.0%	166 14.7%	967 85.3%	0 0.0%	校区福祉委員会等
地 域	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
採血者計(小計)	7,802	5,867 75.2%	501 8.5%	5,366 91.5%	0 0.0%	街頭～地域 の合計
献血ルーム	16,645	14,670 88.1%	672 4.6%	5,761 39.3%	8,237 56.1%	枚方市駅献血ルーム
総 合 計	24,447	20,537 84.0%	1,173 5.7%	11,127 54.2%	8,237 40.1%	採血車・献血ルーム の合計

(採血者数下の%は、受付者数に対する割合。採血者内訳下の%は、採血者数に対する構成比。)

7. 福祉サービス利用援助事業

平成24年度は、生活支援員（サポーター）を2人増員し契約数を増やすとともに、利用者の成年後見制度への移行、待機者の現状把握による整理を行い、年度当初の待機者は解消した。

(1) 事業概要

①目 的

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人に対し、自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などを行うことにより、権利擁護に資することを目的とする。

②実施事業

- 1) 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、代行・代理等）
- 2) 日常的金銭管理（日常管理通帳・印鑑の管理、公共料金等の支払い代行等）
- 3) 書類等の預かり（印鑑、各種証書等を貸金庫に保管）
- 4) 監査委員会の運営
- 5) 関係機関との連携

③職員体制：専門員 2人、生活支援員（サポーター） 7人

(2) 実 績

①サービス提供状況（契約件数 91件）

	福祉サービ ス金銭管理	福祉サービス 金銭管理・預かり	計	内訳		
				継 続	新 規	解 約
認知症高齢者	45	1	46	31	19	4
知的障害者	9	9	18	16	4	2
精神障害者	26	1	27	15	14	2
計	80	11	91	62	37	8

※解約理由：施設入所、成年後見人への移管、死亡

②専門員稼働状況

- ・問い合わせ 41件
- ・初回相談 47件
- ・相談援助 375件（利用者からの電話相談等）
- ・訪問 91件（相談援助、ガイドライン調査等）
- ・関係機関との連携 73件（ケース会議、ケース状況照会等）

③生活支援員（サポーター）稼働状況

- ・訪問 1,859件（内訳：金銭授受1,587件、身上配慮272件）
- ・手続代行等 2,828件 ・相談援助 1,917件

(3) 監査委員会

年3回、事業実施状況について、監査委員（2人）による監査を実施した。

- ・平成24年7月17日
（案件）・平成23年度事業報告 ・平成24年度事業計画 ・平成24年2月～5月期の事業実施状況
- ・平成24年11月20日
（案件）・平成24年6月～9月期の事業実施状況
- ・平成25年3月26日
（案件）・平成24年10月～平成25年1月期の事業実施状況 ・平成25年度事業計画（案）

(4) その他（大阪後見支援センター主催の会議及び研修）

- ①新任者研修 ・平成24年6月6日 支援員 2人
- ②担当者会議 ・平成24年9月4日・12月5日・3月6日 専門員 1人
- ③生活支援員会議 ・平成24年 9月4日 専門員1人 支援員 2人
・平成24年12月5日 専門員1人 支援員 1人

8. 精神保健福祉推進事業

(1) 精神保健福祉推進事業

昭和46年に枚方市が制定した「精神衛生都市宣言」の趣旨を踏まえ設立された枚方市精神保健福祉推進協議会の運営を通じて、関係機関・団体と連携を図り、精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発とともに市民の誰もがこころの健康を維持できるように思春期児童・生徒の「こころの健康づくり」を目的とした事業を実施した。また、こころに病のある人とその家族などによる当事者活動への支援及び精神保健福祉ボランティア活動の支援を行った。

①枚方市精神保健福祉推進協議会の開催状況

精神保健福祉の制度・施策に関する最新情報、枚方市における当事者活動の状況、心の健康に関する課題などについて関係機関・団体と共有することにより、効果的な事業推進を行うことができた。

月 日	場 所	内 容	出席数
9/25	ラポールひらかた 研修室1	・委員の紹介について ・正・副会長の選任について ・平成24年度 上半期事業経過報告について ・平成24年度 下半期活動予定について ・情報提供 ・各団体からの報告について	20人

3/12	ラポールひらかた 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の紹介について ・平成24年度 事業実施状況について ・平成25年度 事業計画（案）について ・情報提供 ・各団体からの報告について 	19人
------	-------------------	--	-----

②企画検討部会の開催状況

心の健康づくりや心の病についての正しい知識の普及を図るための企画検討を実施した。本年は、心の病の若年層をテーマとし、教育委員会・学校と連携を図り、教職員を対象とした研修等により思春期児童の心の病などについての情報提供を行うなど、普及啓発を行った。

月 日	場 所	内 容	出席数
6/13	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の紹介について ・平成23年度 事業報告について ・平成24年度 事業計画について ・取り組みの方向性について 	10人
10/25	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業実施状況について ・今後の取り組みについて ・教育委員会との連携について 	9人
3/28	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業実施状況について ・次期委員に引き継ぐことの整理 ・教育委員会との連携について 	7人

※7/6, 2/8 枚方市立中学校校長会にて、企画部会員が思春期児童・生徒のこころの健康や病をテーマとした研修について説明を行う。

③ふれあい交流事業の実施状況

1) しあわせHOTフェスティバル

地域で暮らす心の病を持つ人が、安心して過ごせる地域づくりの輪を広げていくことを目的に、当事者を中心とした実行委員会により市民との交流イベントの企画・運営を行った。多くの市民が参加し、心の病を持つ人が地域で暮らすことについて理解を広げることができた。

- ・テーマ：「地域で幸せに暮らす！ ～それぞれの幸せのかたち！！～」
- ・主 催：ふれあい交流事業実行委員会
- ・後 援：枚方市・枚方市教育委員会・精神医療センター・関西記念病院・東香里病院・枚方保健所・枚方市社会福祉協議会
- ・実行委員会開催（計8回）

5/31・6/28・7/26・8/30・9/21・10/18・11/29・1/17

月 日	場 所	内 容	出席数
12/8	ラポールひらかた 大研修室他	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニー 「とれぶりんか音楽部」 ・パネルディスカッション「こころのサミット」 当事者による、地域での暮らしや枚方で過ごす中で感じる幸せなどについての発言。 ・ミニコンサート「弾き語りゆうさん」 	144人

④ゼミナール・講演会等の開催状況

当事者や専門の講師を招き精神保健福祉の重要性及び心の健康づくり、心の病等についての正しい理解を深め、差別や偏見のない住みよい社会を築くことを目的に研修会等を開催した。

1) こころの保健ゼミナール

月 日	場 所	内 容	参加者数
8/27	ラポールひらかた 大研修室	テーマ「思春期の発達障害への関わり方」について 講 師：地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立精神医療センター 副院長 中西 正史 氏	97人

2) こころの健康講座（当事者団体と共同開催）

月 日	場 所	内 容	参加者数
7/14	ラポールひらかた 研修室2	テーマ「～私たちの身近な自殺・うつ病について知 りたい～」 講 師：NPO 働く者のメンタルヘルス相談室 伊福 達彦 氏・孫 安雄 氏	35人
2/24	ラポールひらかた 研修室1	テーマ「知って欲しい!お酒の怖さ」 講 師：安東医院 副院長 安東 毅 氏	50人

3) 市民活動啓発講座

月 日	場 所	内 容	参加者数
10/20	ラポールひらかた 研修室1	テーマ「思春期の“こころの病”を理解しよう！」 講 師：枚方市立中学校スクールカウンセラー 臨床心理士 二見 真美 氏 体験発表：わかちあう会 ひらりの会 あかり	32人

⑤セルフヘルプグループの活動支援

精神障害者クラブ「ひらりの会」、心に病を持つ者の家族の会「わかちあう会」、自死遺族わかちあいのつどい「ふきのとうの会」、「枚方断酒会」の活動支援を行った。

⑥こころの電話相談の支援

実施日時：毎日（1月1日・2日を除く）午前10時～午後4時

相談員：研修を経た相談員 約76人 交代制

実施日数：363日 相談件数：3,921件（内訳：男性2,216人・女性1,705人）

⑦広報・啓発等の状況

啓発資材の配布（社会福祉協議会等の主催事業時に適宜配布）

- ・枚方市精神保健福祉推進協議会の啓発用パンフレットを適宜配布
- ・パンフレット「ほっとTime」の発行（2,000部）各関係機関へ配布

(2) 枚方市自殺予防対策事業

枚方市自殺予防対策事業は、自殺予防に係る専用相談電話の設置や自殺予防の役割を担う人材の養成や市民への情報提供と啓発を推進することにより、自殺を思い悩む人への支援体制の充実を図った。

①電話相談支援事業（ひらかた いのちのホットライン）

自殺予防に係る専門の研修を終了した者が、専用の電話相談「ひらかた いのちのホットライン」において、不安や悩みを抱え自殺を思い悩む相談者の思いを傾聴し、受け止めることにより、その苦悩を軽減することを目的に電話相談を行った。

- ・実施日時 毎週月・水・金曜日 午後1時～午後8時
- ・相談従事者 枚方市が実施する相談従事者育成のための研修を修了した者
- ・実施日数 156日
- ・相談件数 175件

②人材養成事業

電話相談支援事業に従事する相談員の養成及び、自殺を考えている人のサインに気づき、見守りを行い、専門相談機関による相談へとつなげる役割を担うゲートキーパーを養成するための研修を実施した。

1) フォローアップ研修

電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的に今回は主に聴き方を中心に研修を行った。

- ・グループ別研修（各グループ10回） 受講者65人
24年4月から25年3月まで毎月1回（8月・1月を除く）
- ・指導者養成講座（10回） 受講者6人（24年4月から25年3月まで毎月1回）

2) 全体研修 平成24年8月18日（土） 受講者45人

電話相談業務に関わっている中で、自らも思い悩み、疲弊してしまう相談員のこころのケアの仕方について学び、相談員自身の心も守りつつ、相談者の悩みを傾聴することができるようになるために開催。

3) ゲートキーパー養成研修

自殺についての正しい知識の普及を図るとともに、自殺のサインに気づき、見守り、必要に応じて適切な専門相談機関へつなぐ役割を担う人材を養成することを目的に「自殺防止ゲートキーパー養成研修」を行った。

〈第1回〉

- ・開催日時 平成24年11月22日（木）15時30分～17時00分
- ・講師 四天王寺学園小学校教諭 阪中 順子 氏
- ・受講対象者 枚方市公立小中学校 教頭 ・参加人数 64人

〈第2回〉

- ・開催日時 平成25年1月9日（水）14時30分～16時30分
- ・講師 関西医科大学附属枚方病院 精神神経科医師 杉本 達哉 氏
- ・受講対象者 枚方市役所職員・包括支援センター職員 ・参加人数 57人

〈第3回〉

- ・開催日時 平成25年1月26日（土）13時30分～16時30分
- ・講師 大阪府立精神医療センター 精神科医 野田 哲朗 氏
大阪自殺防止センター 理事 澤井 登志 氏
- ・受講対象者 一般市民 ・参加人数 50人

③普及啓発事業

啓発キャンペーンの実施や自殺予防をテーマとして講演会の開催、各種相談窓口のリーフレットの配布など、広く市民への情報提供と啓発を行った。

1) 啓発イベントの実施

自殺予防対策週間や自殺対策強化月間において、街頭啓発キャンペーンを実施した。

- 1回目（日時）平成24年9月10日（月）18時～1時間程度
（内容）啓発用ティッシュ配布（場所）京阪電車 枚方市駅・樟葉駅・枚方公園駅
- 2回目（日時）3月27日（水）7時30分～1時間程度
（内容）啓発用ティッシュ配布（場所）京阪電車 枚方市駅・樟葉駅

2) 講演会の開催

14年連続で自殺者数が3万人を超えていたのが平成24年若干減少した。とはいえ、近年は10代・20代の若年層の自殺者が増えていることが新たな課題となっている。

今回は厳しい自然の中で力強く生きていく動物たちの生き様を通して、命の大切さ、そし

て自分ひとりの命ではないことに気づいてもらうため、映画会を開催。

映画「ライフ ～命をつなぐ物語～」上映

日 時 25年3月17日(水) 14時～16時

場 所 ラポールひらかた 4F・大研修室 参加人数 61人

3) リーフレットの配布等の情報提供

各種相談窓口を記載したリーフレットを関係機関・団体や市民に配布することにより、
広く市民への情報提供と啓発

9. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び自立・社会参加の促進を図ることを目的として、生活福祉資金貸付事業を実施した。

それぞれの個人や世帯の状況と必要に合わせた資金、たとえば、就職に必要な知識・技術等の習得や高校、大学等への就学、生活維持のための資金などの貸付を行った。

低所得者や失業者等の生活再建に向け生活費及び一時的な資金の貸付けを行う総合支援資金には、生活支援費・住宅入居費・一時生活再建費の3つの項目があり、全体数は過去と比較して件数・決定金額とも減少傾向にある。

(1) 生活福祉資金貸付

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	不承認
面接件数	25	21	22	41	43	39	47	53	37	47	54	77	506	
貸付件数	2	1	2	1	8	4	5	17	11	6	12	18	87	2

(単位：円)

区 分	貸付件数	貸付決定金額
福祉費	8	5,980,000
小口生活資金	9	850,000
生活復興支援資金	0	0
教育支援資金	66	27,134,000
不動産担保型生活支援(一般世帯)	1	16,730,000
” (要保護世帯)	3	13,286,000
合 計	87	63,980,000

(2) 総合支援資金貸付

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	不承認
面接件数	22	25	17	22	20	15	31	26	15	26	17	29	265	
貸付件数	5	2	1	4	1	1	2	2	0	3	2	3	26	5

(単位：円)

区 分	貸付件数	貸付決定金額
生活支援費	25	12,835,000
住宅入居費	1	330,808
一時再建費	0	0
合 計	26	13,165,808

* 常用就職による貸付中止(減額) 件数：5件あり

(3) 臨時特例つなぎ資金

(単位：円)

面接件数	申請件数	貸付件数	不承認件数	貸付決定金額(総額)
41件	3件	3件	0件	300,000

10. 住宅改造助成調査事業

重度身体障害者及び重度知的障害者(児)の人たちが、日常生活動作の改善や介護者の負担軽減を図るため、身体の状態や家屋の構造などに合わせた住宅改造を行う場合、改造費用の一部を公的制度で助成。

今年度の利用者募集は前期(4月)・後期(9月)に抽選会を行って決定したが、前期・後期とも募集定員に満たなかったため12月に追加募集を行った。

また、本事業の推進のため、作業療法士や理学療法士等の協力を得て「リフォームチーム」を編成し、介護支援専門員との連携のもと、住宅改造方法の提示や相談・助言を行った。

(1) 重度障害者等住宅改造助成事業リフォームチーム開催状況

月日	場所	内容	出席数
6/1	ラポールひらかた 特別会議室	・利用者の現況報告 ・後期の利用者募集について	4人

(2) 改造助成の相談状況及び改造箇所について (訪問稼働数93回) (単位：件)

区分	相談件数	助成対象件数	他制度を紹介
65歳以上	59	12	47
65歳未満	28	13	15
不明	17	0	17
計	104	25	79

- ・不明は匿名相談のため、年齢の区分なし。他制度を紹介は住宅改修費及び用具給付等、公的な融資制度などを指す。

(単位：件)

区分	便所	浴室	玄関・アプローチ	階段	廊下	台所	居室	洗面・脱衣所	その他	計
65歳以上	6	5	4	1	1	2	4	2	2	27
65歳未満	7	10	5	2	4	1	2	3	5	39
計	13	15	9	3	5	3	6	5	7	66

【改造内容】

(単位：箇所)

区分	手摺設置	段差解消	床材変更 床上げ	便器洋式 化・改善	扉変更・ 改善	シャワー設置 ・蛇口改善	浴槽改善	階段昇降 機設置
65歳以上	17	13	8	3	11	1	3	1
65歳未満	31	20	16	4	15	7	7	0
計	48	33	24	7	26	8	10	1

※改造箇所・内容については重複集計。

11. 住宅手当緊急特別措置事業

離職者であって就労能力及び就労意欲のある方で、住宅を失っている方または失うおそれのある方を対象として、原則6ヶ月間（最長9ヶ月間）、賃貸住宅等の家賃として住宅支援給付を支給するとともに、自立・再就職に向けた支援を行った。

(1) 住宅手当緊急特別措置事業 相談一覧表

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	来所	19	24	23	24	26	17	38	28	16	21	19	30	285
	電話	13	7	6	7	8	7	14	12	4	11	3	11	103
決定件数		0	1	3	3	2	5	1	4	7	1	2	1	30
不決定件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援件数		88	92	80	53	41	41	34	47	56	48	52	48	680
中止件数		0	2	3	2	2	0	1	0	4	1	0	2	17

*支給中止原因は、就職によるもの、生活保護の受給、または誓約事項違反による。

12. 共同募金配分金事業

(1) 赤い羽根共同募金（平成24年10月1日～平成25年3月31日）

自治会を窓口とした戸別募金、市内施設・病院等での募金箱の設置、法人募金・職域募金、学校募金等のほか、ボランティアグループ連絡会や大阪国際大学「ひと・まち・であう」プロジェクトの皆さんの協力を得て、京阪枚方市駅・樟葉駅周辺で街頭募金を実施した。募金総額は前年度より182,947円上回った。

募金総額 10,603,728円

また、大阪府共同募金会より1,954,358円の配分があり、本会から枚方市内のボランティア活動・地域ダイケア事業に対し助成を行った。

(2) 地域歳末たすけあい募金の実施（平成24年12月1日～平成25年3月31日）（単位：円）

募金の部		配分の部	
地区募金	12,088,440	福祉活動助成事業	私立保育所 31件 620,000
			地域ダイケア 3件 594,800
団体募金	599,278	ひとり暮らし老人会運営助成 42件 2,488,000	
		福祉団体活動助成 16件 506,000	
		地域福祉活動支援助成事業 45件 5,374,437	
		小規模災害助成（火災） 4件 90,000	
		付帯経費 491,816	
収入計	12,687,718	支出計 10,165,053	

※今年度収支差額 2,522,665円は、次年度配分に繰り越す

13. 居宅介護等事業

自立支援法に基づく居宅介護事業と介護保険法による訪問介護事業、枚方市単費の難病患者等ホームヘルプ事業（以下「ホームヘルプ事業」という）及び居宅介護支援事業を行った。

障害者を中心にホームヘルプ事業を展開しているが、介護保険法によるホームヘルプ事業の占める割合は全体の約12%（昨年は11.4%）で昨年よりも少し増となっている。

ホームヘルプ事業、居宅介護支援事業共に利用者の意思及び人格を尊重し、必要なサービスを提供した。また、今年度から喀痰吸引登録事業者となり、介護職員による痰の吸引を実施した。

サービスの一層の充実を図るため、月1回のサービス提供責任者会議、月2回のヘルパー会議、月1回ヘルパー業務の見直しや環境の整備等を検討する業務改善委員会等を行い、ヘルパーのモチベーションの向上に努めた。また、ヘルパー現任研修会を年2回実施した他、サービス提供責任者が講師となり介護実習を月1回程度開催し、職員のスキルアップを図った。また、自立支援法におけるホームヘルプを中心とした在宅介護の実践録をまとめ、障害当事者が主体となりすべての人が地域で当たり前で生活する意義を顕し、本会のホームヘルプの進むべき方向性を示唆する一助とした。

事業者が連携し障害者自立支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、会の中心的な役割を担った。

本会の役割のひとつとして事業所の持つ介護技術や障害者への支援についてのノウハウを広く市民に提供するため、他事業の現任研修会や本会の会館事業の介護講習会に講師として職員を派遣した。

ホームヘルプ事業において、昨年度に引き続き介護職員等の処遇改善に係る加算により、契約職員の処遇改善を図ることが出来た。

人材の確保については、介護職において全国的に確保出来ない現状がある中、本会においても例外ではなく人員の確保に苦慮した。今年度の新規雇用はわずか3人で内2人が来年度更新対象者、退職ヘルパーは4人。今年度についても人材の確保が最大の課題であった。

利用時間の多かったケースの減少等により正規職員の時間外勤務は減少した。また、居宅介護事業の運営の改善を図り、来年度以降の職員体制の見直しについて検討を行った。

(1) 事業の状況

①利用者（契約）状況

ホームヘルプ事業の新規契約者は13人（身体2人・知的4人・精神6人・介護保険0人・難病1人）契約解除者は22人（身体7人・知的3人・精神6人・介護保険2人・児童2人・難病2人）。

3月現在の契約者は、全体で117人となっている。身体障害者が最も多いが、契約者数が少しずつ減少しているため知的障害者との差が少なくなっている。居宅介護支援事業は、新規契約者7人、契約解除者7人、3月現在で、22人、介護予防は、解約者1人、3月現在6人となっている。ホームヘルプ事業の解約者の内訳は、介護保険への移行者4人、入所施設に移行1人、他市に転居1人、他事業者へ移行7人、死亡4人、難病の居宅介護から身体障害の居宅介護への移行1人・障害のある家族が他の支援を受けることに伴い本人の介護を家族が行うことになったひと1人、家族と同居することになったひと3人である。居宅介護支援事業においては施設入所4人、死亡3人。介護予防においては居宅介護支援への移行1人となっている。

(単位：人) ()は介護予防ケース数

月	自立支援法介護給付事業				市単費	介護保険	ホームヘルプ事業 合計	介護保険
	居宅介護事業				難病	訪問介護		居宅介護支援事業 (介護予防)
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者				
4	40	33	8	21	1	16	119	21 (7)
5	38	33	8	21	1	16	117	20 (7)
6	39	32	8	22		16	117	23 (7)
7	39	33	8	22		16	118	20 (7)
8	38	33	8	23		16	118	20 (7)
9	38	33	8	23		15	117	22 (7)
10	38	33	8	23		15	117	22 (6)
11	37	35	8	24	1	15	120	22 (6)

1 2	3 8	3 4	7	2 4		1 4	1 1 7	2 2 (6)
1	3 8	3 4	6	2 6		1 5	1 1 9	2 1 (6)
2	3 9	3 4	6	2 4		1 4	1 1 7	2 1 (6)
3	3 8	3 4	7	2 4		1 4	1 1 7	2 2 (6)

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

②利用時間

ホームヘルプ事業の利用時間については、月平均2685時間で、昨年度より月平均18時間減少している。これは家事及び身体介護の時間数は昨年より増加しているが、契約時間数の多かった重度訪問介護の利用者が一人減となり、トータルとして時間が減少した為である。介護保険の利用時間はほとんど変わっていないが、内訳として生活援助、身体→生活が減少し、身体介護が月平均25時間増加している。

(単位：時間)

月	ホームヘルプ事業利用時間							合 計
	自立支援居宅介護事業 (身体・知的・児童)			難病	介護保険訪問介護事業			
	家事援助	身体介護	重度 訪問介護	身体 介護	生活援助	身体	身体 生活	
4	584.8	1162.6	669.9	4	92.8	163.8	77.5	2755.4
5	598.1	1163.9	701.6	5	94.8	148.3	73.7	2785.4
6	591.9	1146.2	663.4		95.0	143.8	85.0	2725.3
7	625.3	1169.4	639.3		88.8	149.3	79.0	2751.1
8	600.4	1234.4	480.1		91.0	149.3	74.1	2629.3
9	569.8	1198.8	639.6		91.7	125.8	78.2	2703.9
10	657.0	1299.0	502.4		76.7	142.8	116.3	2794.2
11	624.4	1289.2	433.7	3	71.7	141.5	107.0	2670.5
12	591.1	1312.0	430.9		75.3	131.2	104.9	2645.4
1	589.1	1301.4	430.4		39.8	125.7	127.9	2614.3
2	562.3	1254.0	365.9		35.0	115.6	119.6	2452.4
3	612.2	1332.7	458.3		34.0	124.5	128.0	2689.7
合 計	7206.4	14863.6	6415.5	12	886.6	1661.6	1171.2	32216.9
月平均 利用時間	時間2685時間 (自立支援によるホームヘルプ約2374時間 介護保険によるホームヘルプ約310時間・難病1時間)							

【ホームヘルパー現任研修会】

月 日	場 所	内 容	出席数
9/16	ラポールひらかた 特別会議室2	「在宅生活について」～当事者の立場から～ 講師：館花 久氏 青木 道子氏	41人
2/17	ラポールひらかた 特別会議室2	「精神障害者の地域生活を考える」 講師：NPO法人フェルマータ統括責任者 小林将元氏	30人

14. 移動支援事業

障害者自立支援法に基づく市町村事業である地域生活支援事業の移動支援事業(ガイドヘルプ事業)として余暇活動、施設や作業所及び地域活動支援センター・ショートステイ施設・入所施設への送迎等、利用者の意思及び人格を尊重し、多種多様なサービスを行った。

今年度の重点事項であった利用者の多様なニーズに応える為、サービス提供責任者の増員を行いコーディネート効率化を図った。

また、ガイドヘルパーの質の向上のため、現任研修会を1回から2回に増やし、多くの参加が得られた。ガイドヘルパー同士の相互理解や同じケースを通して問題や課題の共有化を行うケース会議を必要に応じて開催し、ヘルパーのモチベーションや意欲の向上に繋がった。結果、事業所とガイドヘルパーの連携の強化となり、事業所全体の資質の向上を図った。

障害者自立支援法の根幹である自己選択と自己決定により、本人の意思を聞き取り、ニーズに沿ったサービスを心がけた。コーディネート業務を主軸とし、利用者からの相談、ガイドヘルパーへの指導、助言等をきめ細かく行った。また、ヘルパーの業務内容が外出支援であるため、リスク管理を含めた緊急事態に対応できる体制を整えた。

移動支援事業は単なる余暇支援ではなく、利用者が地域で暮らすための生活支援の一端を担っているという観点から関係機関との連携を積極的に行い、必要に応じてサービス調整会議を開催した。また、行政と事業者が連携し障害者自立支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、会の中心的な役割を担った。

ガイドヘルパーとして登録はしているが1年以上活動がない人について登録抹消を行い、382人の登録者を291人に整理した。若年層及び男性ヘルパーについては、活動出来るヘルパーの確保に努めたが、実際の稼働人数は40人程度にとどまっている。今年度も若年層等で幅広く実稼働できる人材の確保が課題であった。

(1) 事業の状況

①利用（契約）者状況

移動支援事業では、新規契約者は5人(身体1人・知的2人・児童2人)。解約者は4人でその内訳は死亡2人、他市への転居1人、他事業所への移行1人となっている。3月現在、395人。そのうち、月平均、229人の契約者が利用しており、約170人は、契約のみで利用には至っていない。

本会への契約希望者も多く、3月で22人が契約待機者となっているが、現状の利用者の利用時間が大幅に増えているため、新たな受入れには時間を要するが努力もしている。

また、精神障害の契約者はいないが、知的障害との重複者については知的障害者に含めている。

(単位：人)

月	身体障害者	知的障害者	児 童	精神障害者	合 計
4	16	343	36	0	395
5	16	343	36	0	395
6	16	343	37	0	396
7	16	343	37	0	396
8	16	345	36	0	397
9	16	346	36	0	398
10	16	348	34	0	398
11	16	348	34	0	398
12	16	347	34	0	397
1	17	347	34	0	398
2	17	348	32	0	397
3	16	347	32	0	395

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

② 利用時間

市町村事業である移動支援事業は、他市のように1か月の区切りで時間が制限されるのではなく3か月で150時間というように利用時間を調整できるニーズに即した利用しやすい制度となっている。今年度については5000時間を超える月が3回もあり、ニーズの高さが伺える。今年度利用時間は、58,509時間で月平均4875.8時間となった。昨年度と比較して月平均約247時間の増で著しい伸びとなった。今年度4月から宿泊を伴う旅行が認められ、本会において今年度5回実施。時間数が増えた理由のひとつとなっている。1人あたりの月平均利用時間は約21時間と昨年よりも1時間増となっている。

(単位：時間)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
4775.5	4986	4910.8	4953.8	4873.8	4849.3	5065.5
11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均利用時間
4,831.8	5031	4554.8	4451	5225.3	58,509	4875.8

【ガイドヘルパー現任研修会】

月 日	場 所	内 容	出席数
10/22 11/13	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「平成23年度在宅福祉課事業報告、障害福祉状況及び移動支援事例報告・ガイドヘルパー交流会」	80人 72人
2/28	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「知的障害のある人への支援について」 ～ケアホームや施設の視点から見たガイドヘルプの意義～ 講師：ベテスタの家 中西 昌哉 氏	121人
3/14	ラポールひらかた 研修室1	テーマ「枚方市移動支援事業の現状と障害者虐待防止法について」 講師：枚方市障害福祉室 廣田係長	31人

15. 総合福祉センター管理運営事業

老人福祉センターとしては、高齢者の健康と福祉の増進を図るため、生活及び健康に関する相談や趣味の講座の開催、ビリヤード等遊具の貸出を行った。市民福祉センターとしては、市民の文化教養等の活動と健康・福祉の増進を図るため、市民講座の開催や茶道の体験行事、グラウンドゴルフや卓球の提供を行った。子育て世代を対象とした市民講座の開催や小学生と親・祖父母の三世代を対象とした世代間交流行事を行った。防災ずきん作り講座では頭巾づくりを通して防災について考える機会になった。ロビーを活用したロビーコンサートでは多くの利用者が集い、センターの活性化に繋がった。また、趣味同好発表会に体験コーナーを設けるなど同好会活動への促進を行った。

(1) 開所日数及び利用証発行件数

(単位：日、件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
利用証発行件数	1175	207	104	36	49	67	108	128	40	50	55	30	2,049

※利用証発行内訳（高齢者 1,728、市民 184、作業所 137）

(2) 使用許可申請状況

(単位：件、人)

老人福祉センター		
室名	件数	利用者数(延)
大広間	433	9,702
機能回復訓練室	1,202	23,376
和室1	298	1,971
和室2	604	3,465
和室3		
会議室1	432	7,258
会議室2		
会議室3	460	4,018
会議室4		
浴室(男)	100	2,444
浴室(女)	100	2,552
図書室	616	1,054
体育室	1,662	38,202
1階ロビー	923	12,254
計	6,830	106,296

市民福祉センター		
室名	件数	利用者数(延)
講座室	529	17,273
料理教室	229	2,680
和室4	401	5,981
和室5		
和室6		
保育室	10	474
会議室5	427	5,572
会議室6	448	7,196
茶室	111	1,058
2階ロビー	626	1,882
グラウンド	578	6,404
計	3,359	48,520

老人作業所		
室名	件数	利用者数(延)
老人作業室	555	5,106

(3) 講座・行事開催状況

(単位：日、人)

講座名	延開講数	延受講者数	講座名	延開講数	延受講者数
趣味の講座 水彩画講座①	10	171	市民講座 油絵講座	10	167
〃 水彩画講座②	10	91	〃 絵手紙講座	12	188
〃 絵手紙講座	10	149	〃 料理講座①	6	124
〃 民謡講座①	10	281	〃 料理講座②	6	111
〃 民謡講座②	10	153	〃 ガンバルーン体操講座	10	172
〃 編み物講座	8	169	〃 ハワイアンフラ講座①	10	196
〃 ルーシーダットン講座	1	21	〃 ハワイアンフラ講座②	10	209
〃 すっきりストレッチ&健康運動講座①	7	162	〃 シーサー作り	1	28
〃 すっきりストレッチ&健康運動講座②	10	248	〃 プレゼントカードづくり	1	14
〃 囲碁講座	10	120	〃 防災ずきんを作ろう	1	18
〃 健康体操講座(作業所)①	10	152			
〃 健康体操講座(作業所)②	10	116			
介護・福祉・健康講座	3	153	計	176	3,213

行事名	開催日	参加者数	備考
世代間交流行事	8月7日	37	小学生16人・料理同好会等21人
文化体験行事	10月13日	180	趣味同好発表会に合わせ中庭で野点開催
ロビーコンサート	11月27日	50	ハンドベルコンサート
	12月5日	80	キーボード演奏と歌のコンサート
	3月6日	100	
舞踊・民謡鑑賞会	1月19日	60	舞踊と民謡の鑑賞会

(4) バス送迎状況

月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数	
4	240	3,143	8	262	3,064	12	232	3,075	
5	262	3,620	9	250	3,376	1	232	2,992	
6	252	3,261	10	252	3,967	2	232	3,233	
7	250	3,345	11	252	3,595	3	260	3,533	
							計	2,976回	40,204人

福祉バス利用回数		利用人数	車いす
高齢社会室	63	2,003	17
障害福祉室	11	293	20
ラポール	23	603	17
地域福祉課	27	858	19
合計	124	3,757	73

(5) 老人福祉センター相談等事業

内 容	実 績	件 数
生活及び健康に関する相談	生活相談（開設日 308 日）1 人 なんでも相談（開設日 12 日）55 人 健康相談（開設日 308 日）6,012 人	6,068 人
生業及び就労のための指導	開設日 308 日	1 人
機能回復訓練の実施	ヘルストロン 延 17,364 人 健康体操（火～土曜日実施）延 3,719 人	21,083 人

(6) 運営委員会開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
3/23	総合福祉センター	・平成 24 年度事業報告について ・平成 25 年度事業計画について ・平成 24 年度利用者アンケート結果報告	7 人

(7) 啓発活動状況

*機関紙『ふれあいステーション』の発行

第 81 号 2,125 部 (6/1) を作成し、センター利用者・関係機関・団体・施設等に配布

*館内情報紙『センターだより』の発行 毎月発行 各 500 部

*各種事業の案内・・・社協だより、広報ひらかた、ホームページ等

*啓発用パンフレット配布・・・一般・関係機関

*同好会活動の活性化
・受付で、センターでの活動希望者に同好会活動を紹介
・同好会参加募集の依頼に応じ、掲示板で紹介

(8) その他実施状況

*利用者アンケート 1 月 22 日～2 月 21 日 協力者数 1,003 人

*接遇・人権研修 4 月 23 日 *趣味同好発表会 10 月 10 日～14 日

*自衛消防訓練 1 2 月 1 日・3 月 22 日

16. くすの木園(生活介護)管理運営事業

平成 24 年度では、昨年より継続して利用者の障害に応じた、きめ細かなサービスの提供を進め、

利用者が安心して日中活動を過ごせるようサービスの提供に努めてきた。

事業所運営面では36人の定員に向けて、交野支援学校から新たに2人の卒園生を受け入れ、運営の安定を図るとともに、より安全で快適かつ効率的に送迎ができるよう送迎車両の入れ替えを行った。また、作業面では、大阪府基盤整備事業補助金を活用してリサイクル活動の効率化を図るため、油圧式空き缶プレス機を購入した。

利用者の支援においては、特に農耕作業に力を入れ、完全無農薬による安全で新鮮な野菜を作り、販売の機会を通じて利用者が地域住民と交流することを目的に取り組んできた。大型銭湯「スパバレイ枚方東」の協力を得て2回（6月14日、12月13日）の露店販売を行うことができ、この販売に際しては自治会を通じてのチラシ配布をお願いすると共に、利用者による販売呼びかけの成果があり多くの住民が来店、採れたて野菜に加えて、くすの木園での自主製品（しおりや紙すきハガキ、キーホルダー等）の販売も行った。また、紙すきハガキ作成についても、いかに利用者が取り組みやすくできるかを試行錯誤しながら行ってきた。利用者が地域住民と交流の機会を持つことは、社会活動へのきっかけとなることから、更に販売の拠点を増やしていくと共に、新たな交流への取り組みを進めていく。

①利用者状況（平成25年3月31日現在・在所者35人）

(ア) 年齢別の状況

(単位：人)

年齢	20歳未満	20歳以上～ 25歳未満	25歳以上～ 30歳未満	30歳以上	計	平均年齢
男	1	4	13	5	23	25.5歳
女	1	5	4	2	12	27.5歳
計	2	9	17	7	35	26.2歳

(イ) 在所年数の状況

(単位：人)

	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	0	2	15	6	0	23
女	1	1	9	1	0	12
計	1	3	24	7	0	35

②障害の状況

(ア) 療育手帳判定

(単位：人)

性別 \ 判定	A	B1	B2	計
男	23	0	0	23
女	11	1	0	12
計	34	1	0	35

(イ) 障害程度区分

(単位：人)

性別 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	3	3	6	11	23
女	0	0	2	4	0	6	12
計	0	0	5	7	6	17	35

③月別在所者数・月別出席率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
在所者数(人)	35	35	35	35	35	36	36	36	36	36	36	35
開所日数(日)	21	23	22	22	21	20	23	23	20	20	21	20
在所者数×開所日数(日)	735	805	770	770	735	720	828	828	720	720	746	700
延利用数(人)	689	736	720	718	676	656	745	765	674	678	660	655
出席率(%)	93.7	91.4	93.5	93.2	92.0	91.1	90.0	92.4	93.6	94.2	88.5	93.6

(年間開所日数 256日 年間平均出席率 92.3%)

④年間行事の実施状況

月	日	行事	保護者会	土曜開所
4	2	入園式・新年度事業説明会	4月2日	4月21日
5	9	保護者交流会	5月9日	5月12・26日
6	3	ふれあいフェスティバル(自由参加)	6月20日	6月16日
7	7	スポーツ交流会(保護者参加日)		7月21日
	9	スポーツ交流会代休		8月4・25日
8	10	I期終業日	8月22日	
		夏休み 8/13~16		
	17	II期始業日		
	31	宿泊体験 8/31~9/1		9月15日
10	26	くすの木まつり準備(代休)	10月17日	10月13日
	27	第3回くすの木まつり		
11	5~	第1回 外出活動		
	16	11/5,6,8,9,12,13,15,16(全8回)	11月21日	11月10・24日
	26	参観日		
	27	参観日		
12	16	ジョイフルクリスマス(自由参加)		12月8・15日
	20	クリスマスパーティー		
	27	II期終業日		
		冬休み 12/28~1/4		
1	7	III期始業日	1月16日	1月12・19日
	28	参観日		
	29	参観日		
2	1	第2回 外出活動I班	2月20日	2月2・16日
	8	第2回 外出活動II班		
	22	第2回 外出活動III班		
3	7	宿泊研修会 3/7~3/8		3月2・30日
	27	年度末パーティー		
		春休み 3/28,29		
	30	III期終業日・土曜開所		

⑤くすの木園運営懇談会の開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
2/25	くすの木園	・くすの木園の現状と平成24年度の取り組みについて ・くすの木園の課題と今後について ・利用者の意見発表	15人

⑥作業収入集計表

(単位：円)

種 類	牛乳 パック	アルミ缶	箱折り	量見本帳	もぎり	紙すき 染紙	ふれあい コーナー	再生資源報償金 まつり売り上げ 野菜販売その他	計
金額	12,392	140,530	66,087	42,800	34,200	46,660	21,041	262,583	626,293

*作業収入から消費税及び地方消費税相当額を差し引いたものを本人支給費として、年間12回に分けて利用者に支給した。

⑦ボランティアの協力状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延人数	25	16	31	33	35	30	90	34	29	21	29	34	407

17. 共同生活援助・介護事業

「れいんぼう」「ひまわり」「コスモス」「たんぼぼ」の4カ所(利用者18人)の運営を行った。ケアホームで快適な生活を送ることができるように一人ひとりの思いを尊重したホームの運営を目指した。今年度は金銭管理のあり方について、来年度4月からの体制に向けて家族懇談や世話人研修を行った。

昨年度より、食事づくりの世話人の確保に苦慮してきたが、今年度、全ホーム全日配置が可能となった。これにより、世話人体制の充実が図られ、利用者へのサービスの質の向上につながった。

また、世話人の内部研修として他のケアホームの実習を実施し、日中の時間帯や緊急時等の対応について世話人が他のホームにも勤務できるようになってきており4カ所の世話人の連携強化を図ることができた。

「枚方市知的障害者福祉ネットワーク生活部会」の事務局を担い、枚方市内のケアホーム運営事業所と情報交換等により連携を深めると共に、ケアホームの推進について意見交換を行った。また市内世話人を対象に「障害者虐待防止法について」と「ケアホーム・グループホームの支援のあり方」をテーマにケアホーム・グループホーム世話人研修会を年2回実施し、多くの参加があり世話人の資質の向上を図ることができた。また、今年度については、より良いサービスの提供を目指して独自で利用者アンケートを実施し、利用者の意見を聞きとり問題点を把握して改善を図るとともに、職員自己点検表アンケートを実施して職員一人ひとりの日常の仕事についての見直しを行い、支援の向上に努めた。

(1) 地域支援センターゆい世話人研修

項 目	回 数	人 数	内 容	場 所
世話人初任者研修	7回	延べ7人	世話人の支援のあり方(現地実習)	各ケアホーム
世話人内部研修	70回	延べ279人	利用者の支援について個別支援計画等	各ケアホーム
世話人外部研修	2回	延べ29人	枚方市ケアホーム世話人研修会	ラポールひらかた

(2) 枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 世話人研修

月 日	研 修 内 容 (場 所)	参加人数
10/23	枚方市知的障害者福祉ネットワーク生活部会 ケアホーム・グループホーム世話人研修会 テーマ「障害のある人の人権と障害者虐待防止法の基本的理解」 講師：弁護士 辻川 佳乃先生	85人
3/21	枚方市知的障害者福祉ネットワーク生活部会 ケアホーム・グループホーム世話人研修会 テーマ「トイレにこだわりのある利用者について」事例検討会・グループワーク	90人

18. 障害者活動支援事業

障害のある人が社会参加や交流する機会として、各種レクリエーション行事を実施し障害のある人の自立と社会参加を図った。「ふれあいスポーツ交流会」では知的障害等のある人で構成される実行委員会を設立。実行委員長を中心に協力し合いながら大会の企画運営を行った。会議では競技内容などに関する積極的な発言もみられ実行委員同士の交流を図ることができた。「ジョイフルクリスマス会」ではアトラクションとして腹話術や落語を催すなど、参加者の楽しめるバリエーション豊かなプログラム構成で実施できた。

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内 容
ふれあいスポーツ交流会 (障害のある人)	年1回 7/7	392人	99人	レクリエーション行事 枚方市立総合体育館
	実行委員会 計6回	実行委員11人		実行委員会参加団体 11団体
ジョイフルクリスマス会 (障害のある人)	年1回 12/16	106人	13人	レクリエーション行事 メセナひらかた

19. 父子家庭日常生活支援員派遣事業

父親が就労等により不在のため、円滑に日常生活を営むことに支障がある父子家庭に対し、父子家庭生活支援員を派遣して、父子家庭の生活向上に努めた。平成24年度は1ケースでスタートしたが年度当初に休止となり以後新規ケースもなかったため実質的な支援には至らなかった。

○派遣状況

件 数	派遣延べ回数	内 容
1件	午後6時～10時 3回	児童の保育、住居の掃除、身の回りの世話、食事の世話など
合 計	3回	

20. 地域包括支援センター事業(第1圏域・第2圏域)

本会は、市内の地域包括支援センター13カ所の内、第1圏域(社協こもれび)と第2圏域(社協ふれあい)を担当し、要支援の利用者プラン作成、二次予防高齢者への地域支援事業のほか、介護支援専門員や介護保険事業所の後方支援や医療・介護施設のネットワーク、権利擁護・成年後見・高齢者虐待対応、地域社会資源の開発やネットワーク化に取り組んでいる。

特に平成24年度の重点目標である「小学校区ごとに地域ケアに関する懇談会(ケア会議)の開催」については、社協こもれびでは、圏域内の樟葉・樟葉南・樟葉北校区においてケース検討の地域ケア会

議を開催、社協ふれあいは、樟葉西校区における樟葉西地域ケア懇談会を発足した。牧野校区においては、「牧野地域ケア懇談会」を開催し連携を深めた。その結果、懇談会参加者の民生委員や府営住宅管理センター、介護保険事業所等から情報、連絡をいただき、支援を必要とする埋もれた高齢者の発見に繋がった。

昨年に引き続き、医師と介護支援専門員の懇談会をクリニックの待合室で、民生委員と介護保険事業所員との懇談会を地域の集会所などで実施した。また、2圏域合同でつくる「くずは地域懇談会（地域ケア会議）」は今年5年目を迎え、「気になることありませんか事業」を継続して実施するなど、樟葉地域の要援護者を発見するきっかけづくりと地域の連携の強化を図った。

その他、「出前教室・講座」と題して、地域に出向き、介護予防や権利擁護、成年後見・任意後見制度の講話、認知症サポーター養成講座を継続して実施し、また男性の自立をうながす料理教室や実習生の受入れを行い、学習の機会づくりに取り組んだ。

(1) 介護予防プラン作成

①要支援者

第1圏域（社協こもれび）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	142	142	141	147	152	151	152	158	159	151	150	148	1793人
委託	65	76	70	74	75	70	74	81	82	89	93	94	943人
計	207	218	211	221	227	221	226	239	241	240	243	242	2736人

第2圏域（社協ふれあい）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	143	141	141	146	137	136	139	136	133	135	134	140	1661人
委託	77	79	77	83	87	105	108	110	109	113	113	113	1174人
計	220	220	218	229	224	241	247	246	242	248	247	253	2835人

②二次予防事業対象者

第1圏域（社協こもれび） 介護予防プラン調査分 5件

第2圏域（社協ふれあい） 介護予防プラン調査分 3件

(2) 総合相談

第1圏域（社協こもれび）

*新規・継続を含めた件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	33	60	77	44	64	64	84	115	64	128	103	117	953件
来所	28	30	25	25	32	27	36	35	22	19	31	27	337件
訪問	10	14	23	12	22	10	16	14	15	13	8	12	169件
その他	5	10	5	4	4	5	5	4	6	6	5	19	78件
計	76	114	130	85	122	106	141	168	107	166	147	175	1537件

第2圏域（社協ふれあい）

*新規・継続を含めた件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	72	102	98	98	133	72	179	211	110	115	117	214	1521件
来所	14	34	44	42	24	33	30	35	32	38	24	28	378件
訪問	25	32	33	32	27	22	25	24	16	30	31	21	318件
その他	0	6	5	0	5	4	13	8	6	5	5	7	64件
計	111	174	180	172	189	131	247	278	164	188	177	270	2281件

(3) 各種事業の実施

①介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）

第1圏域（社協こもれび）

月 日	場 所	内 容	出席数
6/19	くずは野会館	心と身体の健康講座（楽しく運動・身体に貯筋）	48人
7/25	くずは野会館	心と身体の健康講座（美味しく食べて健康づくり）	6人
8/29	くずは野会館	心と身体の健康講座（毎日できる認知症予防）	9人
9/25	楠葉朝日美咲自治会集会所	心と身体の健康講座（楽しく運動・身体に貯筋）	7人
10/23	中楠葉集会所	心と身体の健康講座（楽しく運動・身体に貯筋）	26人
10/25	楠葉朝日美咲自治会集会所	心と身体の健康講座（美味しく食べて健康づくり）	25人
11/27	中楠葉集会所	心と身体の健康講座（美味しく食べて健康づくり）	22人
11/28	楠葉朝日美咲自治会集会所	心と身体の健康講座（毎日できる認知症予防）	12人
12/20	中楠葉集会所	心と身体の健康講座（毎日できる認知症予防）	14人

第2圏域（社協ふれあい）

月 日	場 所	内 容	参加人数
6/29	センチュリー6番館	口腔予防教室	33人
7/11	枚方市市民交流センター	腰痛予防教室	26人
10/22	センチュリー6番館	認知症予防教室「トーンチャイム」	45人
11/6	枚方市市民交流センター	男性向け料理教室	8人
11/2	樋之上住宅集会室	認知症予防教室「笑いヨガ」	24人
1/17	牧野生涯学習市民センター	男性向け料理教室	9人
1/31	牧野北住宅第1集会室	認知症予防教室「笑いヨガ」	15人
2/20	南船橋会館	栄養改善と運動「ガンパルーン体操」	39人
3/19	楠葉生涯学習市民センター	男性向け料理教室	9人

第1圏域（社協こもれび）ハートフルタイム

月 日	場 所	内 容	参加人数
8/28	楠葉生涯学習市民センター	ハーモニカ演奏・合唱	66人
2/21		ハーモニカ演奏・合唱・利用者作品展など	75人

②地域ケア会議・事業所懇談会等

くずは地域懇談会（第1圏域 社協こもれび・第2圏域 社協ふれあい共通）

月 日	場 所	内 容	出席数
6/7	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会 第1回役員会	7人
7/5	楠葉生涯学習市民センター	第1回くずは地域懇談会	20人
9/20	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会 第2回役員会	6人
10/23	楠葉生涯学習市民センター	第2回くずは地域懇談会	24人
12/21	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会 第3回役員会	5人
1/22	くずは野会館	第3回くずは地域懇談会	13人
2/7	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会 第4回役員会	7人
3/8	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会 第5回役員会	7人
3/24	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会企画イベント テーマ「ひとにやさしいまち発見」 午前の部：認知症サポーター養成講座 午後の部：樟葉地域の商店会の協力により対面販売体験、活動紹介等	47人 24人

第1圏域（社協こもれび）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/26	くずは野会館	樟葉校区民生委員との懇談会	12人
5/9	楠葉朝日美咲自治会集会所	樟葉南校区民生委員との懇談会	13人
5/24	楠葉生涯学習市民センター	樟葉北校区民生委員との懇談会	11人
5/25	社協こもれび	第1圏域訪問介護事業所懇談会	14人
7/17	くずは野会館	地域ケア会議（樟葉校区）	10人
9/24	社協こもれび	第1圏域通所介護事業所懇談会	11人
10/18	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域民生委員事業所懇談会	41人
12/18	社協こもれび	第1圏域訪問介護事業所懇談会	14人
2/22	社協こもれび	第1圏域訪問介護事業所懇談会	12人
2/22	楠葉朝日美咲自治会集会所	地域ケア会議（樟葉南校区）	15人
3/7	地域活性化センターきらら	第1圏域～第3圏域合同通所系サービス事業所連絡会	17人
3/15	谷口内科	第1圏域医療機関・ケアマネ待合室懇談会	10人
3/27	柏友会楠葉病院	地域ケア会議（樟葉北校区）	12人

第2圏域（社協ふれあい）

月 日	場 所	内 容	参加人数
5/24	西船橋自治会集会所	樟葉西校区地域ケア懇談会（準備）	3人
6/8	樟葉西小学校図書室	樟葉西校区地域ケア懇談会（準備）	60人
7/13	牧野アスティー	第1回牧野地域ケア懇談会	33人
8/10	社協ふれあい事務所	事業所懇談会	12人
9/27	西船橋集会所	第1回樟葉西地域ケア懇談会発足	34人
11/8	牧野アスティー	第2回牧野地域ケア懇談会	26人
2/14	メディケアモールふれあいホール	第2回樟葉西地域ケア懇談会	28人
3/15	牧野アスティー	第3回牧野地域ケア懇談会	25人

③地域介護予防活動支援（出前教室、認知症サポーター講座など）

第1圏域（社協こもれび）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/8	二ノ宮公園	健康体操（北船橋町北寿会）	31人
4/17	くずは野会館	地域包括支援センターについて	55人
5/11	楠葉朝日美咲自治会集会所	地域包括支援センターについて	12人
5/15	くずは野会館	地域包括支援センターについて	45人
5/23	北船橋集会所	介護保険制度について	30人
7/6	ラポールひらかた	認知症サポーター養成講座（老人大学OB）	29人
7/20	野田区公民館	介護保険制度、認知症予防（和楽会）	24人
8/22	楠葉朝日美咲自治会集会所	介護保険制度について	47人
11/21	北船橋集会所	認知症予防（北船橋町北寿会）	24人
12/12	北船橋集会所	認知症予防（北船橋町北寿会）	20人
1/15	くずは野会館	地域包括支援センターについて	50人
1/23	北船橋集会所	認知症予防（北船橋町北寿会）	21人
1/27	くずは美郷	認知症サポーター養成講座	27人
2/8	楠葉朝日美咲自治会集会所	出張相談 あさみカフェ	30人
3/8	楠葉朝日美咲自治会集会所	出張相談 あさみカフェ	30人

※「男性介護者のつどい」（4/18、6/20、8/22、12/19、2/27）延べ39人参加

第2圏域（社協ふれあい）

月 日	場 所	内 容	参加人数
4/22	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談 4件）	40人
5/27	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談 8件）	40人
6/24	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談 3件）	40人
7/22	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談 2件）	40人
8/12	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談 7件）	50人
9/23	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談 3件）	50人
11/25	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談 2件）	45人
11/28	楠葉並木集会所	出前講座「健康講座」楠葉並木睦会	16人
12/11	大阪府管営住宅管理センター	認知症サポーター養成講座	12人
1/13	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談 7件）	50人
2/10	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談 4件）	50人
2/19	センチュリー4番館集会所	「成年後見制度と任意後見制度」	33人
3/10	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談 3件）	50人

④実習生の受け入れ

第1圏域（社協こもれび）5人、第2圏域（社協ふれあい）6人

（4）地域密着型サービスの運営推進会議への出席

第1圏域（社協こもれび）

グループホーム「はる」運営推進会議に出席（6回）、小規模特別養護老人ホーム「くずは美郷」の運営推進会議に出席（6回）

第2圏域（社協ふれあい）

グループホーム「のぞみ」の運営推進会議に出席（2回）

小規模多機能ホーム「まきの美郷」の運営推進会議に出席（4回）

（5）地域包括支援センター関係者会議への出席

市内13か所の地域包括支援センターの事業実施を円滑に推進するため、全体会議・保健師部会・社会福祉士部会・主任介護支援専門員部会が定例で開催され、担当者が出席。また、枚方市地域包括支援センター運営等審議会に出席し、包括の活動報告を行った。

近隣市との連携を図るため、枚方市・八幡市地域包括支援センター担当者合同連携会議に出席した。

21. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業

市内全域にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、①地域福祉の計画的推進への支援②セーフティネット体制づくり③要援護者に対する見守り・相談④市町村への情報提供に取り組んだ。

特に、地域における高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を必要とする人、またはその家族・親族等の支援や事業啓発を行うとともに、民生委員・児童委員の地区委員会や当事者の集い、校区福祉委員会が開催するサロン等に出席し、地域団体・専門機関と連携を図りながら、地域の要援護者の福祉の向上と自立生活の支援のための基盤づくりを行った。

24年度の相談では、健康医療や生活費に関する相談が増加。地域でのCSWの具体的な活動を紹介や地域住民・関係機関等へ啓発する機会として、校区コミュニティ協議会、民生委員児童委員協議会、校区福祉委員会を対象に講演会も開催した。

(1) CSW事業の推進体制

関係機関・団体等の会議に参加、連携を図り、事業推進のための体制づくりを行った。

- ①CSW配置促進事業連絡会（枚方市・枚方市社会福祉協議会・枚方人権まちづくり協会）
- ②CSW事例検討会
- ③枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議
（枚方警察署、枚方保健所、枚方寝屋川消防組合、枚方市地域包括支援センター、枚方市いきいきネット相談支援センター、枚方市高齢社会室）
- ④枚方市障害福祉サービス事業者連絡会
- ⑤地域ケア会議
- ⑥ひきこもり枚方地域ネットワーク会議
- ⑦府・市関係各課及び地域の関係機関・団体等との連携

(2) 要援護者に対する相談・セーフティネット体制

要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関とともに、見守りやサービス等の調整、複合する課題を抱えた人や公的サービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向けて取り組んだ。

- ① 相談件数について
（北・中・南・東部）

相談対象者	延べ件数	件数	相談者数	
高齢者	385	244		
（うち）1人暮らし高齢者	(256)	(173)		
（うち）高齢者のみの世帯	(129)	(71)		
障害者	877	294		
（うち）身体障害者	(85)	(37)		
（うち）知的障害者	(143)	(55)		
（うち）精神障害者	(649)	(202)		
子育て中の親子	220	102		
一人親家庭の親子	69	28		
青少年	45	16		
DV被害者	16	6		
ホームレス	0	0		
外国人（中国帰国者を含む）	0	0		
その他	1,842	696		
合計	3,454	1,386		776

*内容別

相談内容	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	673	357
生活に関する身近な相談	545	365
健康・医療に関する相談	370	199
生活費に関する相談	349	172
就労に関する相談	202	73
財産管理・権利擁護に関する相談	155	49

消費者被害に関する相談	63	17
多重債務に関する相談	62	11
DV・虐待に関する相談	47	15
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	737	520
住宅に関する相談	84	46
子育て・子どもの教育に関する相談	181	109
その他	507	224
合 計	3,975	2,157

②グループホーム各地区連絡会に参加

③ケース検討会等を随時開催

(3) 広報・啓発活動

①CSW事業の啓発を目的に出張相談会を開催

- ・校区で開催するサロンで、定例相談コーナーを設置。
- ・いきいきネット相談支援センター・総合福祉センター・地域包括支援センター共催による何でも健康相談・・・毎月第2火曜日に実施。
- ・枚方宿くらわんか五六市にて、CSW事業の啓発コーナーを設置・・・毎月第2日曜日に実施。
- ・社協だよりにPR記事掲載
- ・各校区福祉委員会発行の広報紙にCSWのPR記事を掲載
- ・活動報告、チラシ、パンフレット作成・配布

②講演会

月 日	場 所	内 容	出席数
11/30	メセナひらかた	(講 演) 「地域に潜在する福祉課題と地域連携について」 講師：花園大学 社会福祉学科准教授 川島 ゆり子氏 (実践報告) 金久CSW (社会福祉協議会) 「地域から孤立した親子への支援」 ～地域に潜在したSOSを出せなかったケースから～	95人

22. 地域活動支援センター事業

「地域支援センターゆい」は障害のある人の地域生活を支援することを目的に、地域活動支援センターI型事業や障害者相談支援事業、日中一時支援事業等を実施した。

地域活動支援センター事業では日中活動（創作活動・生産活動・サロン等）を行った。創作活動は地域のボランティアに講師を依頼し手芸教室や手話等の講座等実施した。特に今年度は文化創作活動の充実を重点課題としてあげており、定期的な活動に加え不定期的（月1回程度）創作活動で壁画制作等をシリーズ的に取り組み利用者に好評であった。生産活動（木曜デイ）では農作業を行い、収穫したさつまいも等で料理を実施したり、花見やカラオケなどの外出活動の取り組みの工夫によって参加者が増えている。サロンを常時開催しているので、利用者やボランティア等市民の憩いの場としてセンターが有効活用され、サロンの活動を通しての相談が増え、ニーズに添って対応した。

今年度は学習会や研修会の開催を重点項目にあげているが、「地域支援センターゆい学習会」は年2回実施し、利用者数は昨年に比べ増加した。また研修会は「枚方市知的障害者福祉ネットワーク」主催として施設職員対象に年2回、ケアホーム世話人対象に年2回実施して市内の職員の質の向上を図ることができた。

「自立支援協議会」や「枚方市知的障害者福祉ネットワーク」等に参加し市内の福祉サービスについての現状と課題について情報交換等を行い、枚方市障害福祉室や市内福祉サービス事業所等と連携の強化を図ることができた。

障害者相談支援事業では障害のある人の生活全般の相談を受け、地域住民や関係機関と連携を図りながら利用者ニーズに添った支援を行った。知的障害のある人の相談が最も多く、その他精神障害や発達障害のある人の相談も増えている。また内容については成年後見制度や難病に関わる相談などもあり年々多様化している。来所や電話による相談だけではなく、相談内容に応じて訪問相談や同行支援なども行ってきた。

日中一時支援事業は定期的に利用する利用者以外に不定期利用者のニーズにも応えて対応した。

今年度、日中一時支援事業専有スペースの有効活用でカーテンを利用した個室の整備やおもちゃ等利用者が使いやすいするための整備、また中庭においては農作業利用者が使用する長靴等置き場の設置など利用者が使いやすいための施設整備を行った。

【地域活動支援センター事業 I型】

	基 礎 的 事 業			I 型 事 業		
	創作活動	生産活動	その他	医療・福祉及び地域との連携のための調整	地域住民・ボランティア育成	障害に対する理解促進を図るための普及活動
4月	108人	18人	419人	6回	54人	1回
5月	95人	18人	408人	4回	54人	
6月	100人	18人	447人	7回	56人	
7月	114人	17人	438人	4回	55人	1回
8月	88人	17人	463人	10回	47人	
9月	85人	19人	427人	8回	59人	
10月	121人	22人	495人	6回	64人	4回
11月	98人	10人	495人	4回	65人	1回
12月	88人	19人	385人	9回	42人	1回
1月	84人	14人	388人	6回	38人	2回
2月	98人	22人	412人	5回	45人	
3月	90人	14人	438人	6回	41人	3回
合 計	1169人	208人	5215人	75回	620人	13回

【ジョイジョイサークル活動・当事者の集い】

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内容
ジョイジョイサークル (月1回開催。市内在住 ・就労の知的障害のある 人を対象にレクリエーシ ョンを中心としたサーク ル活動)	4月	25人	4人	花見・ミーティング [※] (年間計画)
	5月	20人	4人	バーベキュー (男山)
	6月	27人	0人	ミーティング (旅行について)
	7月	10人	2人	スポーツ交流会参加
	8月	22人	0人	ミーティング (旅行について)
	9月	27人	6人	一泊旅行 (城崎温泉方面)
	10月	25人	0人	ミーティング (外出について)
	11月	24人	5人	外出 (京都水族館)
	12月	21人	3人	ジョイフルクリスマス会参加
	1月	24人	6人	私の主張・新年の集い
	2月	21人	1人	カラオケ
	3月	25人	2人	お花見 (大阪城公園)
	当事者の集い 「わたしの主張」	年1回(1月20日)	34人	47人
実行委員会(計3回)		18人	15人	
合計(延べ人数)		323人	95人	

【地域支援センターゆい勉強会】

	参加者数
平成24年6月3日(日) テーマ「枚方市の障害者計画について」 場所：ラポールひらかた	28人
平成25年3月3日(日) テーマ「選挙について」 場所：ラポールひらかた	37人

【日中一時支援事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	35人	31人	34人	33人	47人	30人	36人	32人	32人	28人	30人	30人	398人

【障害者相談支援事業】

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
4月	64人	13人	29人	22人	2人	40人
5月	43人	10人	40人	25人	0人	48人
6月	51人	12人	37人	22人	0人	47人
7月	27人	4人	22人	18人	2人	54人
8月	31人	5人	32人	29人	0人	61人
9月	35人	3人	40人	30人	0人	44人
10月	36人	2人	17人	36人	3人	48人
11月	19人	2人	24人	28人	0人	35人

12月	16人	6人	30人	21人	0人	29人
1月	12人	6人	19人	24人	0人	29人
2月	11人	4人	6人	28人	0人	53人
3月	38人	2人	24人	32人	0人	44人
合計	383人	69人	320人	315人	7人	532人

	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
4月	9人	13人	7人	6人	1人	4人
5月	12人	9人	13人	4人	2人	1人
6月	7人	6人	4人	6人	1人	0人
7月	4人	11人	10人	8人	3人	0人
8月	7人	11人	5人	2人	0人	0人
9月	5人	8人	1人	3人	1人	0人
10月	9人	12人	4人	4人	4人	0人
11月	2人	21人	1人	7人	2人	1人
12月	5人	4人	1人	5人	1人	0人
1月	1人	29人	2人	8人	1人	0人
2月	2人	13人	5人	9人	2人	1人
3月	1人	1人	1人	9人	0人	1人
合計	64人	138人	54人	71人	18人	8人
相談総延べ人数						1,979人

23. 乳児家庭全戸訪問事業

市内に在住する生後4カ月までの乳児のいる家庭を対象に、子育て支援活動の経験がある訪問員が訪問し、子育てについての不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供につなげるなど、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に、乳児家庭全戸訪問事業を実施した。

(1) 訪問件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
出生者数	263	282	262	281	299	268	276	303	275	266	256	282	3,313
訪問家庭数	224	250	229	228	230	210	226	250	218	205	196	197	2,663

* 訪問家庭数は、新生児家庭訪問の実施世帯等を除いたものとなっています。

(2) 訪問員について

- ・訪問員数 54人（平成25年3月31日現在）
- ・訪問員の要件 保育士等の有資格者、または子育て支援活動の経験のある市民

(3) 訪問員研修会の開催状況

事業の目的を理解し、訪問員としての基礎的な知識の習得と資質の向上を図ることを目的に実施した。

月 日	場 所	内 容	出席数
5/22	ラポールひらかた 大研修室	・講演テーマ：「未熟児訪問について」 講 師：枚方保健所母子チーム 保健師 徳永 羊子 氏 ・関係機関からのアドバイス	37人
9/6	ラポールひらかた 大研修室	・こんにちは赤ちゃん事業の概要について ・個別訪問の際に、心がけること ～傾聴とコミュニケーション～ ・訪問の実際について（ロールプレイング） 講師：ライフデザイン・カウンセリングルーム 臨床心理士 今川 恵理子 氏	27人
2/18	ラポールひらかた 大研修室	・講演テーマ：「助産師訪問と初対面の面接において配慮すべきことなど」 講 師：大阪府助産師会枚方支部 助産師 長岡 千代 氏 ・関係機関からのアドバイス	34人

(4) 運営会議・ケース会議の開催

本事業に関わる関係各課（子育て支援室・家庭児童相談所・保健センター）が参画し、事業に関する連絡調整及びケース対応検討を目的に毎月開催。

開催日：4/5, 5/2, 6/6, 7/3, 8/6, 9/3, 10/2, 11/2, 12/6, 1/9, 2/1, 3/4

(5) 訪問員交流会（綿毛の会の開催）

訪問員相互の交流や情報交換、相談員との意見交換などを目的に開催。

11/30, 12/27, 1/31, 2/23, 3/29の計5回開催。延べ55人が参加。

(6) 相談員の設置

訪問時に作成する訪問個表の提出期間中等に、保育士資格者を相談員として1人配置し、訪問員に助言や指導を行う。年間40日間実施。

24. 総合福祉会館管理運営事業

(1) 総合福祉会館の管理・運営

障害者や高齢者などの生活支援に必要な情報やサービスの提供、部屋の貸し出しを行い、市民活動やボランティア活動の支援を行った。

① 開館日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日 数	29	30	29	30	30	29	30	29	27	27	27	30	347

② 部屋別利用状況

ア) 有料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	利用率(%)
研修室1	171	265	152	588	56.5
研修室2	195	255	123	573	55.0
研修室3	232	283	194	709	68.1
研修室4	199	269	125	593	57.0

集会室	203	267	143	613	58.9
和室	208	273	89	570	54.8
大研修室	248	302	122	672	64.6
保育室	164	169	30	363	34.9
作業室	139	160	23	322	30.9
日常生活訓練室	124	103	47	274	26.3
合計	1,883	2,346	1,048	5,277	50.7

*利用率=利用回数/(開館日数(347)×3)×100

イ) 無料室

(単位:件)

室名	午前	午後	夜間	合計	利用率(%)
ミーティングルーム1	264	307	233	804	77.2
ミーティングルーム2	259	297	233	789	75.8
ミーティングルーム3	305	295	73	673	64.6
福祉団体共用ルーム	225	262	170	657	63.1
福祉情報製作室	192	94	27	313	30.1
録音室	11	25	0	36	3.5
合計	1,256	1,280	736	3,272	52.4

*利用率=利用回数/(開館日数(347)×3)×100

ウ) 施設見学受入状況

(単位:件・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	5
人数	0	0	0	0	0	0	71	0	0	60	30	0	161

エ) 登録団体の状況

登録団体数	147団体
-------	-------

内、障害者団体 75団体、ボランティア団体 64団体、その他団体 8団体(法人団体等)

オ) 温水プール事業

a) 開館日数

(単位:日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	25	25	25	24	26	25	25	25	23	23	23	26	295

b) 利用者の状況

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
大人	1433	1411	1733	2183	2410	1869	1398	1142	1019	1169	1128	1297	18,192
子ども	265	256	389	897	853	398	190	110	126	168	139	231	4,022
高齢者	1377	1385	1488	1639	1973	1697	1602	1294	1166	1166	1201	1508	17,496
障害者	1686	1771	2050	2205	2673	2203	2019	1688	1531	1593	1471	1844	22,734
合計	4761	4823	5660	6924	7909	6167	5209	4234	3842	4096	3939	4880	62,444

c) 利用者別利用率

	大人	子ども	高齢者	障害者	合計
人数(人)	18,192	4,022	17,496	22,734	62,444
利用率(%)	29.1	6.5	28.0	36.4	100

d) 水泳教室開催状況

教室	開催日程	開催日数	参加者延べ人数
障害者のための 初心者水泳教室	5月16日～6月27日	7日	90組142人
	9月5日～10月17日	7日	87組130人
	11月7日～12月19日	7日	95組137人
	1月16日～2月27日	7日	90組131人
障害者のための 初心者親子水泳教室 (幼児)	5月18日～6月29日	7日	69組138人
	9月7日～10月19日	7日	62組124人
	11月2日～12月21日	7日	68組136人
	1月18日～3月1日	7日	59組118人
障害者のための 初心者親子水泳教室 (小・中・高校生)	5月19日～6月30日	7日	95組190人
	9月8日～10月27日	7日	85組170人
	11月10日～12月22日	7日	80組160人
	1月19日～3月2日	7日	88組176人
高齢者のための 初心者水泳教室	5月16日～6月27日	7日	122人
	9月5日～10月17日	7日	127人
	11月7日～12月19日	7日	122人
中高齢者のための 中級水泳教室 (クロール・背泳ぎ)	9月3日～10月29日	7日	124人
	1月16日～2月27日	7日	83人
一般初心者水泳教室	11月5日～12月17日	7日	71人
中高齢者アクア ウォーキング教室	5月17日～6月28日	7日	196人
	9月6日～10月18日	7日	185人
	11月8日～12月20日	7日	214人
	1月17日～2月28日	7日	217人
中高齢者 水中体操教室	5月17日～6月28日	7日	202人
	9月6日～10月18日	7日	191人
	1月17日～2月28日	7日	176人
合計		175日	3,782人

③福祉図書コーナーの運営

ラポールひらかた4階の福祉図書コーナーに、福祉関係図書4,675冊、ビデオ約951本、DVD68本その他関係資料を設置し、市民が自由に閲覧・視聴できるように管理運営を行っている。

また、地域福祉情報の拠点として、福祉情報の収集・整理を行い、適切に市民に提供できる体制づくりを進め、市民から寄せられる多岐にわたる福祉情報に関する相談・質問に応じた。

*開所日時 月曜日～日曜日(第2日曜日、年末年始は休室) 午前9時～午後5時30分

*現在登録者数 3,627人

*おはなしサロン(9/26, 12/19)

*手話で歌おう(1/10)

*第24回枚方市健康・医療・福祉フェスティバル(10/28)

*第2回ひらかた社協ふくしフェスティバル(11/17)

*啓発事業

*手話入門教室

*体験教室(アイマスク・白杖・点字)

(ラポール福祉講座で詳細掲載)

*コーナー利用状況

開所日数	来所者数
347日	11,778人

*ライブラリー利用状況

登録者数(新規)	書籍貸出数	ビデオDVD貸出数
200人	2,764冊	48本

*相談利用状況(4月1日～翌年3月31日)

来所相談件数	電話相談	相談総数
204件	36件	240件

④車いす貸し出し状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出台数(台)	54	53	107	31	21	36	92	135	46	60	56	77	768
貸出件数(件)	26	29	29	18	21	29	22	32	21	17	18	27	289

*車いす総保有台数 25台(自走車20台、介助車5台)

⑤各種相談事業の開催

*ふくし相談

高齢者の介護や障害を持つ方の生活問題等、福祉全般の相談に応じた。

- ・相談日時 毎週月曜日 午後1時～4時
- ・相談員(福祉相談員) 1人
- ・開設日数 44日
- ・相談件数 35件

*会館相談

- ・相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時30分
- ・相談員(会館職員)
- ・開設日数 238日
- ・相談件数 123件

*心の健康相談

心の健康に関するさまざまな問題や不安等の悩みについて、精神保健福祉士及び臨床心理担当者が面接相談に応じた。

- ・相談日時 毎週金曜日 午後1時～4時
- ・相談員 臨床心理担当者 2人
- ・開設日数 50日
- ・相談件数 68件

*父子家庭相談員設置事業

父子家庭が日常生活において直面する家事・育児・教育・経済問題などに対して、必要な情報提供、社会資源の活用など適切な助言を行い、父子家庭の福祉の増進を図ることを目的に相談に応じた。

相談員数	相談件数	相談内容
8人	4件	・父子家庭での子育てについて ・生活問題、生活上の悩みについて

*要介護老人家族の相談員設置事業

寝たきりや認知症高齢者を介護する方の日常生活に直面する課題に対して、社会資源の活用など適切な助言を行い、要介護老人とその家族の福祉増進を図ることを目的に相談に応じた。

相談員数	相談件数	相談内容
12人	726件	・日常の介護の悩みについて ・介護技術、介護用品、福祉サービスの利用等について

⑥各種事業の開催

*ラポール福祉講座

月 日	内 容	参加者数
7/26 8/2	◎いきいき講座 歌体操教室 (全2回) 「リズム・歌に合わせて体操」 講 師：いきいき歌体操HAND 吉岡 京子 氏 他	27人 21人
9/25	◎子育て応援講座 (わくわく教室・全5回) 子どもと遊ぼう!① (手遊び) 講 師：保育士 竹内 香都 氏 深見 佳子 氏	19組
10/2	子どもと遊ぼう!② (読み聞かせ) 講 師：保育士 竹内 香都 氏 深見 佳子 氏	14組
10/9	プチ勉強会「食育について」 講 師：栄養アドバイザー「萌」 武田 光子 氏 他	14組
10/16	調理実習「バランスのとれた食事」 講 師：栄養アドバイザー「萌」 仁和 房子 氏 他	14組
10/23	座談会 講 師：保育士 竹内 香都 氏 深見 佳子 氏	11組
10/30	◎子供アレルギー教室 (ボランティアグループ「萌」と共催) 「食物アレルギーのある子どもを持つ保護者を対象とした講習会」 講 師：栄養アドバイザー「萌」 武田 美千子 氏 他	15人
11/9	◎幼児安全法短期講習会 「子供がケガや病気をしたときの対処、応急手当」 講 師：日本赤十字社大阪府支部 和田野 元美 氏	9人
2/7	◎災害時高齢者支援講習会 「災害時における対処法を紹介、有事に備える」 講 師：日本赤十字社大阪府支部 猪野 淳子 氏	6人
2/21	◎ホームヘルパーおさらい講座 「就労につながらない方の、不安な部分の解消や初歩的な実技をおさらい」 講 師：枚方市社会福祉協議会 在宅福祉課 川上 雅英	11人

(福祉図書コーナー啓発事業)

月 日	内 容	参加者数
8/22	福祉ミニ教室「体験教室」 (小学生を対象に実施) 「当事者の話やアイマスク、白杖、点字等の体験を行う」 講 師：図書コーナースタッフ	8人
2/21 28	福祉ミニ教室「手話講習会」 「簡単なあいさつや、これから手話を習いたいという方への入門編」 講 師：図書コーナースタッフ	16人 14人

*ラポール市民講座

月 日	内 容	参加者数 (延べ)
5/10~ 6/28	太極拳教室 8回 講師：大阪武術太極拳連盟 普及指導員 松井 治三郎 氏	242人
5/18~7/6	ヨガ連続講座 8回 (夜間) 講 師：NPO法人日本YOGA連盟 山口 洋博子 氏	126人

9/12～10/31	ヨガ連続講座 8回(昼間) 講師: NPO法人日本YOGA連盟 山口 洋博子 氏	149人
8/5	父と子の料理教室 講師: 枚方市健康づくり食生活改善協議会 田畑 卿子 氏 他	25人
9/7～10/19	プレママアクア教室(妊婦を対象としたアクアエクササイズ)4回 講師: インストラクター 藤村直樹 氏・助産師 松本奈美江 氏 他	23人
9/13～10/25	プレママヨガ教室(妊婦を対象としたヨガ教室)4回 講師: 助産師兼インストラクター 片山由美 氏 他	20人
9/18	プレママ料理教室(ボランティアグループ「萌」と共催) (妊婦を対象とした栄養講話と調理実習) 講師: 栄養アドバイザー「萌」 武田 光子 氏 仁和 房子 氏	10人

*プール教室

20年度より、市民講座の位置づけとして体力向上、健康増進を目的とした教室と、介助者なしでグループ練習形態指導を行う事により社会性などの向上、社会的な自立を目指した障害児水泳教室を開催。

教室	開催日程	開催日数	参加者延べ人数
アクアビクス教室	5月17日～6月28日	7日	171人
	9月6日～10月18日	7日	190人
	11月8日～12月20日	7日	159人
	1月17日～2月28日	7日	144人
小学生低学年の水泳教室(障害児の部)	5月16日～6月27日	7日	64人
	11月7日～12月19日	7日	70人
	1月16日～2月27日	7日	89人
小学生高学年の水泳教室(障害児の部)	5月18日～6月29日	7日	74人
	11月2日～12月21日	7日	88人
	1月18日～3月1日	7日	97人
水泳教室(障害者の部)	5月16日～6月27日	7日	79人
	9月5日～10月17日(追加開催)	7日	108人
	11月7日～12月19日	7日	102人
	1月16日～2月27日	7日	119人
水泳教室(一般初心者の部)	5月14日～6月25日	7日	58人
水中トレーニング	11月8日～12月20日	7日	117人
スポーツチャレンジ教室	8月1日・2日・3日	3日	41人
	8月1日・2日・3日(追加開催)	3日	41人
	3月27日・28日・29日	3日	42人
リフレッシュ講座	4月6日～4月26日	4日(7回)	171人
	7月26日～8月30日	7日(7回)	161人
	3月21日～3月29日	4日(6回)	110人
中・高校生水泳教室	10月21日～11月5日	5日	11人
スイミングセミナー	1月27日～3月24日	5日	97人
小学校低学年の水泳教室(障害児の部)	9月5日～10月17日 (新規開催)	7日	91人

小学校高学年の水泳 教室（障害児の部）	9月 7日～10月19日 (新規開催)	7日	96人
------------------------	------------------------	----	-----

*ボランティアセンターとの共催事業（ボランティア活動推進事業で記載）

*ラポールいこいのミニライブ開催状況

グループ・サークルが日頃の練習成果を披露し、観客と膝と膝を合わせた一体感ある手作りライブを開催し、市民交流の場と位置づける。また、総合福祉会館の啓発を行い、新たな利用者の発掘を行う。

(開催状況)

月	回数	内 容
4	3	ハーモニカ演奏・キーボード弾き語り・ノーズフルート（鼻笛）演奏
5	3	大人のための絵本ライブ・フォークソング弾き語り・歌とキーボード演奏
6	3	マンドリンアンサンブル・ハーモニカ演奏・キーボード弾き語り
7	4	歌とオカリナ演奏・口笛演奏・大人のための絵本ライブ・ゴスペル
8	3	歌とオカリナ演奏・ハーモニカ演奏・キーボード弾き語り
9	3	フォークソングの弾き語り・大人のための絵本ライブ・ハーモニカ演奏
10	5	玉すだれ・ハーモニカ演奏・三味線・キーボード弾き語り・歌とキーボード
11	4	マンドリン合奏・ギターとハーモニカ・クラシックギター演奏・アカペラ男声8人の合唱
12	4	フォークソング弾き語り・リコーダー演奏・ハーモニカ演奏・キーボード弾き語り
1	2	大人のための絵本ライブ・弾き語り（j p o p など）
2	3	キーボード弾き語り・ハーモニカ演奏・フォークソング弾き語り
3	3	アコーディオン演奏・大人のための絵本ライブ・キーボード弾き語り

会場は1階正面玄関エレベーター前で開催。

⑦研修事業の実施

職員の資質並びに利用者サービスの向上・安全管理の面から下記の研修会を実施。また、関係機関が実施した研修会等にも参加。

月 日	内 容	参加者数
4 / 23	サービスマナー・人権研修会	36人
5 / 13	温水プールスタッフ研修会（監視の心得等）	20人
7 / 12	普通救命（AED）講習会	15人
10 / 14	温水プールスタッフ研修会（救急救命法）	17人

平成24年度
社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会
決 算 書